

仙台市文化財調査報告書第66集

年 報 5

昭和 58 年 度

昭和 59 年 3 月

仙 台 市 教 育 委 員 会

仙台市文化財調査報告書第66集

年 報 5

昭 和 58 年 度

昭 和 59 年 3 月

仙 台 市 教 育 委 員 会

序

「モノから心の時代へ」といわれはじめて久しくなりました。物質的な生活の豊かさを求めてみんなが一心不乱に働き続けたことが、社会にさまざまなひずみを引き起したいわゆる高度成長期。その反省として生み出されたこの言葉は、大変抽象的ながらも、時代の大きな転換を予感させつつ社会全体に深く浸透してきたように思われます。そして、心の豊かさの回復という困難な課題に対して、何とか具体的な解決の糸口を見い出そうとする試みが広がりを見せています。

近年、歴史が静かなブームを呼び、一般的に取りつきにくいイメージのあった文化財に対する関心が次第に高まりつつあります。これも単に流行的な現象というより、めまぐるしい時の流れのなかで見失い、忘れ、あるいは置き去りにしてきたものを想い起こし、もう一度見つめ直してみるという意味を含めた、大きな背景をもつ動きとみることができるのではないのでしょうか。永いときを刻みつつ人々が歩んできた道と、その過程で培われてきた有形・無形の遺産の数々は、決して現代を生きる私たちとかけ離れた存在ではなく、むしろ常に新鮮さをもって何かを問いかけ続けていく力を秘めています。私たちがその声なき声に耳を傾けるならば、それに応じて更にさまざまなことを語りかけ、新しい時代を創造してゆく上できっと大きな手助けとなることでしょう。

文化財というものに蓄えられた豊かな可能性を余すところなく引き出していくこと、それが文化財行政に求められる最も重要な課題であるといえます。そのためには対象を適確な眼でとらえ、記録し、保護・保存を図ったり、あるいは必要に応じて手を加えるなど、実に広範囲の業務をバランス良く進めなければなりません。併せて市民の皆さんに親しんでいただくといった工夫も無論大切なこととなります。この1年も、仙台市教育委員会ではさまざまな角度から全力をあげて事業の推進に取り組んでまいりましたが、そのひとつひとつが小さな歩みに過ぎないとしても、文化財を活かしていく上での確かな積み重ねとなるものと信じてやみません。

ここにまとめた報告は、その成果の一端を収録したものです。刊行にあたってご協力をいただいた関係各位に心から感謝を申しあげるとともに、今後とも本市の文化財行政に対しご指導ご支援をいただきますようお願いし、ごあいさついたします。

昭和59年3月

仙台市教育委員会

教育長 藤 井 黎

目 次

序

目 次

例 言

I. 事業報告

- | | |
|---------|---|
| 1. 管理関係 | 1 |
| 2. 調査関係 | 6 |

II. 調査報告

- | | |
|----------------------|----|
| 1. 今泉城跡 | 15 |
| 2. 富沢水田遺跡 | 22 |
| 3. 遠見塚古墳出土の条痕文土器片 | 28 |
| 4. 仙台市指定文化財候補物件調査報告Ⅱ | 30 |

例 言

1. 本書は、仙台市教育委員会社会教育課文化財管理係・文化財調査係が昭和58年度に行なった文化財保護管理、文化財保護思想の啓蒙普及活動、文化財の調査に関する各種事業についての年度報告書である。
2. 調査報告のうち埋蔵文化財関係は、昭和58年度に実施した発掘調査のうち独自に概報もしくは報告書にまとめるに至らなかった小規模な発掘調査2件の概報、及び過年度調査にもとづく考察1件の計3件を掲載した。
3. 「仙台市指定文化財候補物件調査報告」は、仙台市文化財保護委員会委員をはじめとする各分野専門の先生がたに調査していただいた調査報告のなかから、昭和58年度分のうち建造物部門2件に関するものを掲載した。
4. 調査報告のうち埋蔵文化財関係分の執筆については、Ⅱ-1を柳沢みどり、Ⅱ-2を金森安孝、Ⅱ-3を佐藤甲二・結城慎一・工藤哲司がそれぞれ担当した。

I. 事業報告

1. 管理関係

(1) 一般文化財

1) 文化財保護委員会

本年においては、定例会6回に加え臨時会1回、及び部門別の仙台市指定文化財候補物件調査小委員会5回を開催した。

定例会・臨時会では、懸案となっていた経ヶ峯（伊達家墓所）の市史跡指定問題を中心に経緯し、二度にわたる現地視察を交えて現状把握、及び指定範囲等について協議が重ねられた。また、11月には建造物1棟（旧伊達邸）の市文化財指定についての諮問を受けて審議を行ない、答申に至っている。

その他、文化財指定に関しては昨年度に引き続き美術工芸、建造物、歴史文献、無形・民俗の四部門について各1回の小委員会を開催し、従来の指定候補物件に関する調査検討、及び新たなリストアップ等が行なわれた。また、美術工芸部門のうち彫刻関係については、小委員会委員による現地調査も実施された。各小委員会の検討結果は定例会において報告され、今後の指定のあり方などについて意見交換が行なわれた。

なお、現職委員のうち仙台市議会選出の委員については、市議会議員改選に伴い浅野巖男委員が辞任され、後任として橋本亮委員が昭和58年5月1日付で委嘱された。

2) 文化財パンフレット

今年度においては、第8集として「時をさかのぼる一複合遺跡上ノ台」を刊行し、昭和55年の発掘調査で前期旧石器時代の文化層が発見され、広く注目をあつめた山田上ノ台遺跡の紹介を行なった。

また、既刊の文化財パンフレットのうち、第3集「仙台市の古建築Ⅰ(明治以前)」及び第4集「仙台市の古建築Ⅱ(明治以降)」の再版を併せて行なった。

3) 説明板の設置

本市では国際化へ向けてのまちづくりの一環として、案内板や表示板の統一性をはかるため「サイン計画」が具体化しつつある。今年度の説明板設置事業では、これに整合性をもたせる試みとして新規のモデルの説明板(本体材質：GRC、表示部：アルミプレートエッチング)を愛宕山装飾古墳に1基設置した。これは、すぐれた耐久性と美観を兼ねるとともに、英語表示・図示を含めた情報内容となっており、文化財の周知・保護への効果が期待される。

4) 「由緒ある町名・通名と八十八辻」辻標の設置

昭和58年11月に選定委員会（佐々久委員長）を開催し、その協議結果に基づいて次の5基を

設置した。

連坊小路・長泉寺横丁(連坊二丁目・モリヤ和洋菓子店前)、新寺小路・二軒茶屋(市道清水小路多賀城線歩道上)、河原町・河原町横丁(時計宝石の大井河原町店前)、覚性院丁・石切町(八幡二丁目・小梨石材店前市道上)、土橋通・十二軒丁(広瀬町市道北三番丁線上)

なお、昭和52年の事業開始以降、設置総数は39基を数える。

5) 文化財めぐり

市民の文化財に対する理解と認識を深め、あわせて文化財保護思想の高揚をはかるため、市内をはじめ身近に存在する文化財に接する機会として下記のとおり文化財めぐりを実施した。

月 日	昭和58年8月21日(日)	昭和58年9月25日(日)	昭和58年11月6日(日)
行 事 名	「古民家を訪ねて」	「宮町・小松島周辺をめぐって」	「河原町とその周辺」
対 象	小学生(高学年)35名	高校生以上の市民 80名	高校生以上の市民 60名
講 師	逸見英夫氏(郷土史家) 他	逸見英夫氏(郷土史家)	市博物館鶴岡幸子学芸員
コ ー ス 等	柴田町・平井家(商家)～蔵王町・我妻家(農家)～白石市・小見家(武家屋敷) ※体験学習(縄ない)を実施	清浄光院～福沢神社～延寿院～仙岳院～東照宮～万寿寺 他 ※平家琵琶観賞も実施	七郷堀～舟丁～南材木町～新弓町八幡神社～河原町(土蔵建築見学)～桃源院叢塚)～旅立福荷神社 他

6) 文化財講座

文化財の啓蒙普及事業として下記のとおり5回の文化財講座を実施した。

月 日	テ ー マ	講 師	会 場
昭和58年7月17日(日)	神社建築をめぐって	佐藤 巧氏(東北大学教授)	大崎八幡神社
昭和58年8月28日(日)	仙台の民俗芸能とその伝承	千葉 裕一氏(県審議会委員)	震災復興記念館
昭和58年12月11日(日)	中世の岩切城	入間田宣夫氏(東北大学助教授)	岩切公民館
昭和59年3月24日(土)	富沢周辺の考古学	渡辺 泰伸氏(育英高校教諭)	仙台市役所
昭和58年 7月31日(土) 8月1日(日)	親と子の文化財教室 (1日目:映画・スライド・遺物等による学習 2日目:発掘体験学習・見学)	社会教育課文化財調査係職員	中央公民館 後河原、郡山、下ノ内浦の各遺跡発掘調査現場

7) 文化財の指定

本年度においては、次の物件が仙台市指定文化財として新たに指定された。

種 別	名 称	員 数	指 定 年 月 日	備 考
有形文化財(建造物)	旧伊達邸	1棟	昭和58年12月1日	明治後期の華族邸宅 木造平屋一部二階建 瓦葺住宅

旧伊達邸の文化財指定により、市指定文化財の総件数は26件、建造物では3件となった。

8) 文化財分布調査

昨年に引きつづいて、仙台市内にある文化財の基本台帳整備のため柳生地区の石碑分布状況の確認調査を実施した。

9) 指定文化財の維持管理

昭和58年8月に市指定史跡・三沢初子の墓などの除草清掃及び国指定史跡・陸奥国分尼寺跡の樹木剪定を、同年7月・9月には国指定史跡・陸奥国分寺跡の樹木消毒及び一部除草清掃をそれぞれ実施した。

10) 文化財の防災点検

恒例の文化財防火デー（1月26日）に伴い、市消防局による事前査察（昭和59年1月23～25日）が計12ヶ所で、また防火デー当日には防災訓練が計6ヶ所でそれぞれ実施された。

(2) 補助事業

〔1〕 県費補助事業

1) 指定文化財保存管理事業

大崎八幡神社(国宝・重文)・東照宮(重文)・陸奥国分寺薬師堂(重文)の3件について、防災設備保守点検、小修理などの維持管理事業に対し補助を行なった。

2) 無形文化財保存事業

宮城県指定無形文化財の館山甲午氏(平曲技術保持者)、甲田綏郎氏(精好仙台平技術保持者)及び同無形民俗文化財の大崎八幡神社能楽保存会の2個人1団体の技術保持に対し補助を行なった。

〔2〕 国庫補助事業

1) 史跡陸奥国分寺跡土地買上げ事業

目的：史跡陸奥国分寺跡の保存保護を図るため、史跡指定地の公有化を図る。

土地公有化の実績：土地の公有化は昭和43年度から着手し、昭和57年度までに社寺有地を中心に主要堂塔跡地18,853.09㎡の公有化を終了している。

今年度の事業：今年度は南大門跡南側の民有地109.09㎡の公有化を実施した。

今後の事業予定：最終的には史跡指定地内全域の公有化を図るのが目的であるが、現実には諸条件がからむため困難なことが多く、現実には現状変更に伴う買い取り請求の都度対応していくなど段階的にすすめるを得ない。

2) 史跡陸奥国分寺跡環境整備事業

目的：史跡として最もふさわしい状態に整備して活用をはかり、広く市民の文化的生活の向上に資することを目的とする。

環境整備の進捗状況：昭和47年度から事業に着手し、昭和55年度までに金堂跡、七重塔跡、中門跡、廻廊跡など主要堂塔跡の整備を終了している。

今年度の事業：今年度は南大門跡東脇築地跡の確認とこれに関連する遺構の調査を実施するとともに、南大門跡南側の市有地について、周辺の景観に配慮しながら、整地並びに植栽工事を行った。また、社寺有地以外の公有化についても、昭和54年度以降、進んできたため、国分寺跡の全体計画について再検討の必要が生じたため、陸奥国分寺跡調査整備審議会を昭和58年10月と昭和59年3月の2回開催した。

今後の事業予定：陸奥国分寺跡調査整備審議会の審議結果をふまえながら、改めて全体的な国分寺跡の整備計画（指定地全域を含めたもの）をたて、その計画に基づいた整備を実施する必要がある。

3) 史跡遠見塚古墳環境整備事業

目的：遠見塚古墳の保存を図り、史跡にふさわしい状態に整備するとともに、史跡公園として市民の活用に供することを目的とする。

今年度の事業：今年度と来年度の2ヶ年で古墳墳丘部の修景工事を実施する予定で、今年度はその後円部について復原工事（盛土と張芝）を実施した。

今後の事業予定：今後は、前方形・周塹の整備工事、その周辺の植栽工事、便益施設等の設置工事を予定している。

4) 史跡岩切城跡詳細分布調査・保存施設事業

今年度の事業：今年度は保存施設事業としては、岩切城跡の概要について市民に周知を図るため、説明板、標柱を各1基、高森山公園の入口に設置した。また、詳細分布調査事業としては、現地踏査の結果を踏まえながら、地形測量を行い、縮尺1/1000の実測図を作成した。

今後の事業：今後は、岩切城跡に関する文献・発掘調査等の基本調査を実施しながら、史跡の保存管理やその活用について検討していく必要がある。

5) 史跡陸奥国分尼寺跡土地買上げ事業

これまでの実績：陸奥国分尼寺跡は、昭和23年12月8日付文部省告示第98号をもって国の史跡に指定され、昭和42年に史跡指定地の一部の土地(推定金堂跡)307.81㎡を公有化し、翌43年に文化庁の指導を受けて整備を実施している。

今年度の事業：今年度は、環境整備を終了した個所の西隣の民有地162.52㎡について公有化を行った。

今後の事業：今年度公有化した土地について、今後調査を行い、その成果に基づいて環境整備に着手する予定である。

6) 郡山遺跡地の発掘調査事業

郡山遺跡緊急範囲確認調査

本年度は、昭和55年から開始された緊急範囲確認調査5ヶ年計画の第4年次にあたり、推定方四町Ⅱ期官衙域内の中央やや北寄りの地区1,400㎡を第35次調査として実施した。また、推定方二町寺域の東外側地区の遺構確認調査を520㎡にわたって、第41次調査として実施した。調査は4月18日に開始し、11月18日に終了した。さらにこれらの他、個人住宅等の建築に係る事前調査を6ヶ所(第36～40・42次)で行った。調査総面積は2,175㎡である。

第35次調査は昭和57年度第24次調査に引き続き推定方四町Ⅱ期官衙の中心施設を明らかにすべく実施したものであるが、これより先行するⅠ期官衙の遺構群を中心に古墳時代から中世にわたる数多くの遺構・遺物が発見された。Ⅰ期官衙の遺構群は第24次調査で発見された掘立柱建物跡や材木列と一連のもので、東西長51m(170尺)～54m(180尺)、南北長60m(200尺)以上の材木列によって区画された官衙ブロックが明らかになった。この中には掘立柱建物跡や竪穴住居跡が方向を描いて並んでおり、2～4回の建て替えも認められる。このⅠ期官衙遺構群は基準方向が真北線から30°～34°東にずれている。また、このⅠ期官衙遺構よりさらに古い竪穴住居跡の存在も確認された。

Ⅱ期官衙の遺構は極めて少なく、当初確認することを目的とした中心施設は発見されなかった。しかし、外郭南辺材木列から北に3町の位置で、真東西方向に延びる一本柱列と溝跡を発見した。この一本柱列は塀と考えられ、この北側にはほぼ同時期に建てられていたとみられる掘立柱建物跡や井戸跡があり、方四町官衙内で北側を区画した内部の小区画施設と考えられる。井戸跡は木枠組が遺存し、深3.5m以上、井井枠内法70cmの横板組のもので、底面から1m程まで、土器類が詰め込まれた様な状況で出土した。土器類は須恵器鉢2個体・壺2個体、土師器高坏片1点の他は土師器甕が100個体程あり、一時的、意図的に一括投棄されたものと考えられ、全国的にみても類例のない資料となった。

第41次調査はⅡ期官衙、寺域外の遺構確認を目的に実施したが、Ⅱ期官衙造営基準と同方向の南北に延びる溝跡を1条発見したのみである。

今年度の調査ではⅠ期官衙の範囲が六町以上に広がっていること、倉庫群とは別に柵で囲まれた官衙ブロックが存在し、さらに北に広がっていること、Ⅱ期官衙は方四町と考えられる北部地区に塀で区画された一画が存在することなどが明らかになった。

仙台平野の遺跡群発掘調査

仙台平野に分布する遺跡群にかかる小規模な開発（個人住宅の建築等）に伴う、遺跡の範囲確認・性格究明を目的とした発掘調査事業の第3年次にあたる。今年度は、提出された発掘届の中から富沢水田遺跡（2件）、郡山遺跡（5件）の2遺跡7件について発掘調査を実施した。発掘調査は6月から12月にかけて実施し、調査面積は320㎡であった。調査の結果、富沢水田遺跡では弥生時代から平安時代にかけての畦畔・水田跡を検出し、水田遺跡の範囲が東方、北方に広がっている可能性を示すことが判明した。郡山遺跡の調査は、郡山遺跡緊急範囲確認調査事業と関連する個所が多く、協力体制を組み、官衙遺構の究明に大きな成果を得た。今後は未調査の遺跡について、詳細な分布調査を含め、範囲・性格を明らかにする調査を実施していく必要があるといえる。

2. 調査関係

（昭和58年度）埋蔵文化財発掘調査事業概要

昭和58年度の発掘調査事業は、公共事業関係では高速鉄道南北線建設工事に伴う①富沢水田②下ノ内浦 ③下ノ内 ④伊古田の各遺跡の調査 ⑦電話線工事に伴う富沢水田遺跡(1)の調査 ⑨広南病院建設工事に伴う富沢水田遺跡(2)の調査 ⑩都市計画街路川内～南小泉線の建設工事に伴う南小泉遺跡の調査 ⑪仙台市博物館建設工事に伴う仙台北城跡の調査 ⑫給食棟建設工事に伴う六反田遺跡の調査 ⑬道路工事に伴う上野遺跡の調査がある。

民間開発事業では、宅地造成に伴う⑤戸ノ内 ⑥後河原 ⑧今泉城跡の各遺跡の発掘調査がある。

国庫補助事業では⑭郡山遺跡の緊急範囲確認調査（5ヶ年計画の4年次）、⑮史跡陸奥国分寺跡の環境整備事業のための調査、⑯仙台平野に分布する遺跡内の小規模開発（個人住宅の建設等）に関する調査があり、それぞれに調査成果をあげることができた。以下それぞれの概略についてふれる。

①富沢水田遺跡では、三時期（平安時代以降、平安時代、弥生時代）の水田跡を検出。弥生時代の水田跡については⑨と同様、東北地方では青森県に次いで二例目の発見

②下ノ内浦遺跡では、平安時代の水田跡、竪穴住居跡2、掘立柱建物跡2、弥生時代の竪穴状遺構1、土壇、ピット群を検出。土師器、弥生土器、縄文土器、石埴丁も出土。

③下ノ内遺跡では、古墳～平安時代の竪穴住居跡、掘立柱建物跡、溝跡を検出。

④伊古田遺跡では、古墳～平安時代の竪穴住居跡、縄文時代中～後期の遺物包含層を検出、縄文土器、土偶、緑釉陶器（段皿他）、青磁碗を出土。

⑤富沢水田遺跡(2)では、弥生～中世の間の5面の水田跡、縄文時代の旧河川を検出。縄文土

器、弥生土器、石庖丁を出土、特に弥生時代の木製農具（鋤・鎌）の出土は東北地方で初めて。

⑩南小泉遺跡では、古墳～平安時代の竪穴住居跡、中世の大溝跡を検出。

⑪仙台北城跡では、溝跡、掘立柱建物跡、基壇状遺構を検出。瓦、近世陶磁器、木製品（櫛・箸・下駄など）、古銭、慶長一分判金などを出土。

⑫六反田遺跡では、平安時代・平安時代以降の水田跡、奈良時代の竪穴住居跡を検出。土師器、須恵器、縄文土器、炭化米を出土。

⑬上野遺跡では、縄文時代中期の竪穴住居跡、炉跡を検出。狭い調査面積ながら多数の縄文土器片、石器が出土。

⑭戸ノ内遺跡では、古墳時代前期の方形周溝墓、竪穴住居跡、平安時代と中世の溝多数を検出。土師器壺、甕、器台、中世陶器甕を出土。

⑮後河原遺跡では、平安時代以前～近世までの水田跡2面を検出。陶磁器、木製品、土製品などを出土。

⑯郡山遺跡、⑰陸奥国分寺跡、⑱仙台平野の遺跡群についての概要は、前述の国庫補助事業の項目を参照。

以上のように13遺跡15ヶ所において発掘調査が行なわれ、大きな成果をあげることができた。遺跡の発掘届（通知）は前年を下回ったが、ここ3年間は215～270件を数え、大部分は立会調査であり、一部試掘調査、事前調査となっている。今後も先人の伝えてくれた文化財を後世に伝えていくべく最大の努力を注いでいく考えである。

昭和58年度発掘調査の概略

No.	遺跡名	時代	種類	対象面積㎡	調査面積㎡	調査期間	担当職員	報告書	備考
1	富沢水田	弥生、平安、平安以降	水田跡	2,700	2,400	7/1~7/15	斎野、荒井、渡辺(誠)		公共事業
2	下ノ内浦	縄文~平安	集落跡、水田跡	1,900	970	7/1~7/15	吉岡、成瀬	69集	#
3	下ノ内	縄文~平安	集落跡	3,500	2,000	7/1~7/15	藤原、渡辺(忠)、佐藤(裕)		#
4	伊占田	縄文、古墳、平安	集落跡	1,800	1,416	7/1~7/15 7/1~7/15	藤原、高橋、渡辺(昭)、佐藤(昭)		#
5	戸ノ内	古墳、平安、中世	集落、墓	7,100	3,500	7/1~7/15	渡部、主浜	70集	民間開発
6	後河原	弥生?~近世	水田跡	4,500	1,700	7/1~7/15	青沼、佐藤(甲)	71集	#
7	富沢水田(1)	弥生、平安	水田跡		46	7/1~7/15	金森、柳沢	66集	公共事業
8	今泉城跡	縄文、古墳、中近世	集落跡、城跡		28	7/1~7/15	柳沢、金森	66集	民間開発
9	富沢水田(2)	縄文~中世	水田跡	1,790	1,300	7/1~7/15	工藤、渡辺(誠)	67集	公共事業
10	南小泉	弥生~近世	集落跡	1,500	600	7/1~7/15	結城、佐藤(洋)	68集	#
11	仙台城跡	近世	城跡	5,200	2,400	7/1~7/15	結城、佐藤(洋)	昭和59年度	#
12	六反田	縄文、奈良、平安	集落跡、水田跡	168	168	7/1~7/15	田中、菅原	72集	#
13	上野	縄文	集落跡	103	103	7/1~7/15	金森、菅原、佐藤(甲)	昭和59年度	#
14	郡山	古墳~奈良	官衙跡	—	2,175	7/1~7/15	木村、菅原、長島	64集	国庫補助
15	国分寺跡	奈良~平安	寺院跡		140	7/1~7/15	青沼、佐藤(甲)	63集	#
16	(仙台平野の遺跡群)	—	—	—	—	7/1~7/15	金森、柳沢、佐藤(睦)	65集	#

昭和58年度発掘届(通知)一覧

昭和59年 月 日現在

発掘届番号	遺跡名	所在地	原因	調査面積	始 期	遺 跡 の 性 格
1	C-141 真 藤 沢	稲ヶ谷字高瀬沢26-4	住宅新築	73.70㎡	立ち会い	集落跡(縄文、奈良、平安時代)
2	C-233 山 口	宮武字山口54-1地	*	124.33	*	集落跡、木田跡(縄文時代~中世)
3	C-419 徳島国分寺	木の下2丁目	*	83.76	*	寺跡跡(奈良、平安時代)
4	C-225 鶴 巻 Ⅱ	稲富字鶴巻2番51-1	倉庫建築	140.72	*	集落跡(平安時代)
5	C-421 仙石重信墓所跡	南小泉字七曲89番地の1	事務所解体新築	210.83	試 掘	墓室遺跡(奈良、平安時代)
6	C-501 仙 台 城	川内遺跡跡地563号	住宅解体新築	69.41	立ち会い	城跡跡(南北朝~江戸時代)
7	C-296 長 町 六 丁 目	長町六丁目65-9	住宅新築	84.46	*	集落跡(奈良、平安時代)
8	C-102 南 小 泉	南小泉字遠見塚内22-1	住宅解体新築	97.90	*	集落跡(奈良、古墳、奈良、平安時代)
9	C-102 南 小 泉	南小泉字七曲27-15	住宅新築	86.12	*	*
10	C-507 今 泉	今泉字久保田97-1 97-6	*	40.10	*	集落跡、城跡跡(縄文時代~近世)
11	C-183 山 根 上 / 台	山根字北郷03-1	*	161.0	試 掘	集落跡(前期~後期弥生、縄文、平安、江戸時代)
12	C-104 郡 山	郡山三丁目14	舗装工事	260.0	立ち会い	宮前跡(古墳~奈良時代)
13	C-401 堤町互置跡	堤町一丁目9-24	貸事務所建築	188.52	試 掘	集落跡(平安時代)
14	C-104 郡 山	郡山三丁目128-35	住宅新築	106.01	*	宮前跡(古墳~奈良時代)
15	C-234 鶴 巻 Ⅰ	稲富字鶴巻一番114の5	*	95.73	立ち会い	集落跡(平安時代)
16	C-104 郡 山	郡山六丁目3-6	車庫建築	21.18	試 掘	宮前跡(古墳~奈良時代)
17	C-425 (案内古墳) 入道寺原跡	安美寺下82-94	墓地造成	862.85	*	古墳(古墳、白鳳、奈良時代)
18	C-215 砂 押 Ⅱ	沖野字砂押45-3	住宅新築	13.25	立ち会い	集落跡(古墳、奈良、平安時代)
19	C-102 南 小 泉	遠見塚一丁目1	共同住宅解体新築	101.12	*	集落跡(奈良、古墳、奈良、平安時代)
20	C-269 北 屋 敷	六丁目字屋敷42-1 42-4	倉庫建築	39.75	*	集落跡(古墳~奈良時代)
21	C-102 南 小 泉	遠見塚一丁目42-41	共同住宅新築	164.30	*	集落跡(奈良、古墳、奈良、平安時代)
22	C-135 浦 / 島	岩御字浦ノ島145-5	住宅新築	123.39	*	集落跡(古墳~中世、中世以降)
23	C-282 内 / 平	渡野字内平71番地	私立保育園の増築	42.84	*	集落跡(奈良、平安時代)
24	C-501 仙 台 城	川内遺跡	住宅解体新築	44.71	*	城跡跡(南北朝~江戸時代)
25	C-104 郡 山	郡山六丁目266-5	住宅新築	84.37	*	宮前跡(古墳~奈良時代)
26	C-102 南 小 泉	遠見塚二丁目	倉庫及び稲刈新築	49.68	*	集落跡(奈良、古墳、奈良、平安時代)
27	C-102 南 小 泉	遠見塚一丁目26-27	住宅新築	100.31	*	*
28	C-102 南 小 泉	遠見塚二丁目291-27	住宅解体新築	94.51	*	*
29	C-102 南 小 泉	遠見塚一丁目10-4	住宅新築	91.23	*	*
30	C-401 堤町互置跡	堤町二丁目99	住宅新築	89.26	*	集落跡(平安時代)
31	C-102 南 小 泉	古城三丁目202-12	住宅新築	168.75	*	集落跡(奈良、古墳、奈良、平安時代)
32	C-206 的 場	郡山七丁目7-36	住宅増築	14.90	*	集落跡(奈良、平安時代)
33	C-104 郡 山	郡山三丁目116-27	*	22.34	*	宮前跡(古墳~奈良時代)
34	C-286 南 / 東	富田字八幡中10-2	*	37.26	*	集落跡(奈良、平安時代)
35	C-102 南 小 泉	遠見塚一丁目210 7	住宅新築	110.53	*	集落跡(奈良、古墳、奈良、平安時代)
36	C-223 福 田 町	福田町二丁目1115-1	*	69.54	*	集落跡(平安時代)
37	C-104 郡 山	郡山三丁目6-15	店舗付住宅新築	46.98	*	宮前跡(古墳~奈良時代)
38	C-102 南 小 泉	南小泉西丁目103 2	アパート増築	96.07	*	集落跡(奈良、古墳、奈良、平安時代)
39	C-501 仙 台 城	川内遺跡	住宅解体新築	90.	*	城跡跡(南北朝~江戸時代)
40	C-104 郡 山	郡山三丁目51-66	*	34.02	*	宮前跡(古墳~奈良時代)
41	C-509 小 幡 城 跡	小幡字城跡53	住宅新築	28.15	*	城跡跡(中世)
42	C-135 浦 / 島	岩御字浦ノ島1-6	*	14.90	*	集落跡(古墳~中世、中世以降)
43	C-141 真 藤 沢	稲ヶ谷字高瀬沢26-14、15	住宅新築	154.96	*	集落跡(縄文、奈良、平安時代)
44	C-135 浦 / 島	岩御字浦ノ島73-3	住宅増築	7.78	*	集落跡(古墳~中世、中世以降)
45	C-501 仙 台 城	川内	上水道配水管工事	1,260.00	*	城跡跡(南北朝~江戸時代)

区分 番号	道 路 名	所 在 地	原 因	面積(㎡)	地 数	道 路 の 性 質
46	C-102 南 小 泉	遠見塚一丁目42-42	共同住宅新築	106.11㎡	立ち会い	集落跡(弥生、古墳、奈良、平安時代)
47	C-412 安養寺F瓦葺	東山六丁目142-2	学校舎舎建替	436.2	試 掘	集落跡(平安時代)
48	C-180 萩 ヲ 丘	萩ヲ丘9-1	小学校舎建替	94.	立ち会い	集落跡(彌文、奈良、平安時代)
49	C-501 仙 台 城	川内通船	住宅解体新築	37.26	*	城跡跡(南北朝～江戸時代)
50	C-170 山田四郎地東照	堤町二丁目1-20	共同住宅新築	99.11	*	集落跡(平安～江戸時代)
51	C-104 郡 山	郡山二丁目58-25	住宅新築	86.48	*	官衙跡(古墳～奈良時代)
52	C-505 北 目 城跡	碓山四丁目107	*	131.96	*	城跡跡(弥生、江戸時代)
53	C-501 仙 台 城	川内3番9号	神物殿新築		事前調査	城跡跡(南北朝～江戸時代)
54	C-104 郡 山	郡山二丁目37-25	住宅新築	80.29	*	官衙跡(古墳～奈良時代)
55	C-225 越 巻 区	福富宇鶴巻二番45-1	倉庫建替	80.73	立ち会い	集落跡(平安時代)
56	C-224 越 巻 区	福富宇鶴巻二番29-1	住宅新築	82.55	*	集落跡(平安時代)
57	C-223 越 巻 区	福富町二丁目110番	*	74.51	*	集落跡(平安時代)
58	C-501 仙 台 城	川内通船	住宅解体新築	41.82	*	城跡跡(南北朝～江戸時代)
59	C-135 浦ノ 集	岩切宇津ノ集75-5	住宅新築	52.16	*	集落跡(古墳～中世、中世以降)
60	C-102 南 小 泉	遠見塚一丁目7-30	上水道配水管布設	296.00	*	集落跡(弥生、古墳、奈良、平安時代)
61	C-501 仙 台 城	川内通船	住宅解体新築	39.74	*	城跡跡(南北朝～江戸時代)
62	C-135 浦ノ 集	岩切宇津ノ集168-6 169-7	住宅新築	121.20	*	集落跡(古墳～中世、中世以降)
63	C-102 南 小 泉	遠見塚二丁目330-1	*	164.95	*	集落跡(弥生、古墳、奈良、平安時代)
64	C-301 富 沢 水 田	富沢宇清水	事務所内倉庫建替	146.15	試 掘	水田跡(弥生、平安、平安以降)
65	C-168 上 野	富田宇上野中地内				集落跡(彌文、奈良、平安時代)
66	C-102 南 小 泉	遠見塚 丁口、二丁目尾内	下水道管布設	893.00		集落跡(弥生、古墳、奈良、平安時代)
67	C-135 浦ノ 集	岩切宇津二所北地内	下水道管布設	1,272.00	立ち会い	集落跡(古墳～中世、中世以降)
68	C-206 地 蔵 田	六丁目宇行福前2,14-8	事務所内倉庫建替	623.00	*	集落跡(中世)
69	C-213 戸ノ 内1	四郎九字戸ノ内1番地先	上水道配水管布設	356.60	試 掘	集落跡(古墳、奈良、平安時代)
70	C-102 南 小 泉	遠見塚二丁目295-8	住宅附屬工事	68.93	立ち会い	集落跡(弥生、古墳、奈良、平安時代)
71	C-301 富 沢 水 田	富沢宇教場2,1,2,3	倉庫建替	25.00	*	水田跡(弥生、平安、平安以降)
72	C-102 南 小 泉	古墳二丁目29-2	住宅新築工事	19.13	*	集落跡(弥生、古墳、奈良、平安時代)
73	C-104 郡 山	郡山一丁目194-7	住宅解体新築	66.37	*	官衙跡(古墳～奈良時代)
74	C-113 安 丸 東	西中前四丁目8-12	住宅新築	81.14	*	集落跡(弥生、古墳、奈良、平安、中世、近世)
75	C-102 南 小 泉	南小泉宇二丁目10-27	*	166.82	*	集落跡(弥生、古墳、奈良、平安時代)
76	C-104 郡 山	郡山一丁目12 3	住宅解体新築	66.46	*	官衙跡(古墳～奈良時代)
77	C-301 富 沢 水 田	富沢宇清水30-5	店舗新築	23.16	*	水田跡(弥生、平安、平安以降)
78	C-104 郡 山	郡山四丁目8-9	住宅増築	14.00	*	官衙跡(古墳～奈良時代)
79	C-104 郡 山	郡山二丁目28-1	住宅解体新築	112.00	*	*
80	C-501 仙 台 城	川内通船	*	69.74	*	城跡跡(南北朝～江戸時代)
81	C-149 徳興区分寺跡	木ノ下二丁目63-10	住宅建替	63.30	*	寺院跡(奈良、平安時代)
82	C-501 仙 台 城	川内通船	住宅解体新築	46.17	*	城跡跡(南北朝～江戸時代)
83	C-102 南 小 泉	南小泉宇伊勢塚敷40-24	店舗付住宅解体新築	119.28	*	集落跡(弥生、古墳、奈良、平安時代)
84	C-223 越 巻 区	福富町二丁目26番	幼稚園遊戯室新築	265.80	*	集落跡(平安時代)
85	C-135 浦ノ 集	岩切宇津ノ集5-6-4-6,10-4	住宅新築	72.87	*	集落跡(古墳～中世、中世以降)
86	C-135 浦ノ 集	岩切宇津ノ集89-1	*	75.56	*	*
87	C-501 仙 台 城	川内通船	住宅解体新築	44.71	*	城跡跡(南北朝～江戸時代)
88	C-104 南 小 泉	古墳三丁目10-11	住宅新築	69.93	*	集落跡(弥生、古墳、奈良、平安時代)
89	C-141 富 沢 水 田	越ノ下宇富沢沢25-11	住宅新築	71.21	*	集落跡(彌文、奈良、平安時代)
90	C-445 長 命 荘 集落	小松島三丁目15-2	貸貸バーノ建替	483.04	試 掘	集落跡(平安時代)
91	C-223 山 口	富沢四丁目308-10	住宅新築	83.54	立ち会い	集落跡、水田跡(縄文時代～中世)
92	C-501 仙 台 城	川内通船	*	42.16	*	城跡跡(南北朝～江戸時代)

地区区分	道 路 名	所在地	原 因	開発面積	地 理	道 路 の 性 質
93	C-281 南 沖 北	中田町字北沖北23-8	住宅新築	90.80㎡	立ち会い	黒高跡 (古墳、奈良、平安時代)
94	C-104 郡 山	郡山三丁目14-35	住宅増築	28.15	*	官田跡 (古墳～奈良時代)
96	C-202 東 崎 原	富沢字東崎24-1	賃貸アパート建蔽	172.18	*	黒高跡、水田跡 (縄文、古墳、平安、近世)
96	C-501 仙 台 城	川内1番地	神社改築	867.38	*	城跡跡 (南北朝～江戸時代)
97	C-102 南 小 泉	古城三丁目1-30	住宅解体新築	70.18	*	黒高跡 (弥生、古墳、奈良、平安時代)
98	C-197 六 反 田	大野洲字六反田10番地5	小学校給食棟建設	207.00	事前調査	黒高跡 (縄文、弥生、古墳、奈良、平安、江戸時代)
99	C-501 仙 台 城	川内道祖	住宅新築	78.66	立ち会い	城跡跡 (南北朝～江戸時代)
100	C-509 小 籠 城 跡	小籠字扇屋47-13	共同住宅建蔽	141.40	*	城跡跡 (中世)
101	C-208 後 河 原	中田町字北44-3	事務所倉庫付住宅増築	313.00	*	黒高跡、水田跡 (奈良、平安)
102	C-301 富 沢 水 田	長町字宮田17番4	店舗新築	608.00	試 掘	水田跡 (弥生、平安、平安以降)
103	C-301 富 沢 水 田	富沢字中塚地10-1,下ノ隈内2	住宅新築	157.21	*	立ち会い
104	C-104 郡 山	郡山三丁目204-15	住宅増築	30.36	立ち会い	官田跡 (古墳～奈良時代)
105	C-104 郡 山	郡山五丁目302-3	住宅新築	126.86	*	*
106	C-135 橋 ノ 原	岩切字橋ノ原104-1	建売住宅新築3棟分	133.65	*	黒高跡 (古墳～中世、中世以降)
107	C-607 砂 押 古 塚	砂押町108-2	賃貸アパート建蔽	189.42	*	古墳 (古墳時代)
108	C-301 富 沢 水 田	富沢字島崎前27-1,27-2,10-1	店舗増築	624.00	*	水田跡 (弥生、平安、平安以降)
109	C-104 郡 山	郡山六丁目236-5	店舗増築	32.01	*	官田跡 (古墳～奈良時代)
110	C-102 南 小 泉	古城三丁目4-34	住宅新築	88.61	*	黒高跡 (弥生、古墳、奈良、平安時代)
111	C-102 南 小 泉	古城三丁目1-1	住宅増築	33.12	*	黒高跡 (弥生、古墳、奈良、平安時代)
112	C-304 茂 ヲ 崎 城	向山町丁目30-20	旗屋復旧工事	*	*	城跡跡 (南北朝～室町時代)
113	C-501 仙 台 城	川内道祖	住宅解体新築	46.57	*	城跡跡 (南北朝～江戸時代)
114	C-511 新 井 城	古城二丁目3-1	倉庫新築	850.00	*	城跡跡 (戦国～江戸時代)
115	C-301 富 沢 水 田	長町三丁目3番地内	倉庫建設	268.70	試 掘	水田跡 (弥生、平安、平安以降)
116	C-235 郡 田 井 町	郡田町二丁目14-1	住宅増築工事	27.30	立ち会い	黒高跡 (平安時代)
117	C-135 橋 ノ 原	岩切字橋ノ原143-6,144-7	倉庫付住宅解体新築	222.73	*	黒高跡 (古墳～中世、中世以降)
118	C-104 郡 山	郡山三丁目30-4	住宅増築	72.45	*	官田跡 (古墳～奈良時代)
119	C-102 南 小 泉	古城三丁目3-24	車庫新築	19.87	*	黒高跡 (弥生、古墳、奈良、平安時代)
120	C-505 北 井 城	郡山西丁目5-10	作業場新築	25.92	*	城跡跡 (室町、江戸時代)
121	C-501 仙 台 城	川内道祖	住宅解体新築	56.74	*	城跡跡 (南北朝～江戸時代)
122	C-102 南 小 泉	古城三丁目12-2	住宅増築	59.62	*	黒高跡 (弥生、古墳、奈良、平安時代)
123	C-104 郡 山	郡山三丁目128-57	住宅新築	83.64	事前調査	官田跡 (古墳～奈良時代)
124	C-102 南 小 泉	遠見塚二丁目231-13, 14	*	110.34	立ち会い	黒高跡 (弥生、古墳、奈良、平安時代)
125	C-132 上 野 山	御坂字上野山10-140	*	97.60	*	黒高跡 (縄文時代)
126	C-270 6 押 1	神野字神楽地内	上水道配水管有設	48.00	試 掘	黒高跡 (古墳、奈良、平安時代)
127	C-135 橋 ノ 原	岩切字橋ノ原66-3,4,5	住宅増築	17.83	立ち会い	黒高跡 (古墳～中世、中世以降)
128	C-102 南 小 泉	遠見塚二丁目41-6併地先	上水道配水管有設	211.88	*	黒高跡 (弥生、古墳、奈良、平安時代)
129	C-300 下 ノ 内 原	富沢字下内原5-2	住宅新築	63.96	*	黒高跡 (弥生、奈良、平安時代)
130	C-108 上 野	富田字上野中28-4	住宅新築	49.05	*	黒高跡 (縄文、奈良、平安時代)
131	C-224 巻 ヲ	黒高字巻巻一帯39	住宅新築	193.15	*	黒高跡 (平安時代)
132	C-206 人 妻 田 石	茂原字人妻田石9-13外	事務所倉庫新築	6,787.45	試 掘	黒高跡 (古墳、平安時代)
133	C-301 富 沢 水 田	富沢字島崎前29-1	住宅新築	106.66	立ち会い	水田跡 (弥生、平安、平安以降)
134	C-301 富 沢 水 田	長町字砂押18-5	*	106.57	*	*
135	C-301 富 沢 水 田	富沢字一帯26-5	*	114.37	*	*
136	C-301 富 沢 水 田	長町三丁目301-18	丹塗住宅及び事務所増築	94.75	*	*
137	C-102 南 小 泉	遠見塚三丁目8-17	倉庫兼事務所新築	37.77	*	黒高跡 (弥生、古墳、奈良、平安時代)
138	C-501 仙 台 城	川内	湧水堰設置	55.00	試 掘	城跡跡 (南北朝～江戸時代)
139	C-501 仙 台 城	川内道祖無蓋地	住宅解体新築	41.40	立ち会い	*

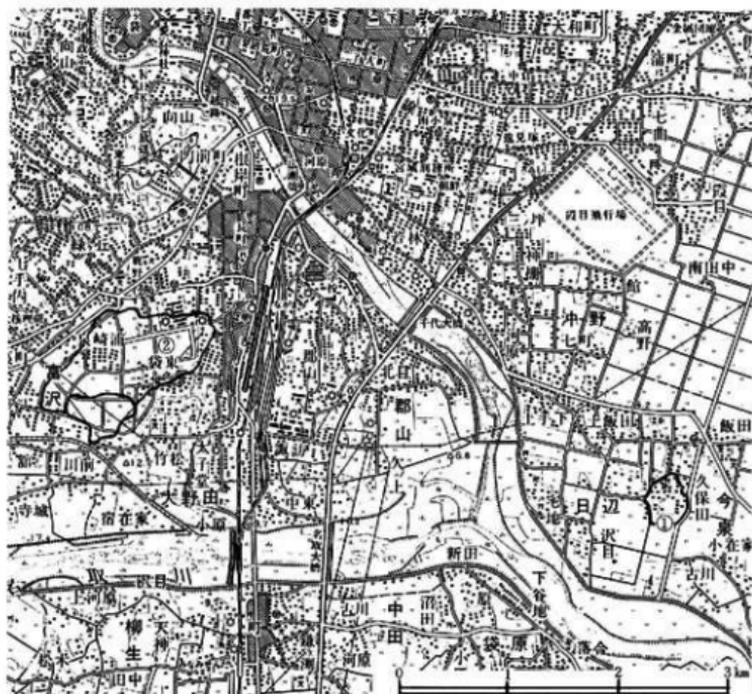
路線番号	道路名	所在地	原因	商業面積	店舗	道路の性格
140	C-234 明 屋敷	六丁目坂面上14	奉親寺付倉庫新築	2,348.86㎡	立ち会い	集落跡(平安時代)
141	C-234 明 屋敷	六丁目字屋敷敷24	貸事務所倉庫新築	132.40	*	*
142	C-504 仙 台 城	川内藤巻地	テニスコート新設	2,580.00	*	城跡跡(南北朝～江戸時代)
143	C-501 仙 台 城	川内1-1	石造農具貯蔵庫新設	230.00	*	*
144	C-501 仙 台 城	川内1-1	公衆トイレ、ゴミ集積庫	126.90	*	*
145	C-102 南 小 島	南小島字道川西79	住宅増築	50.06	試 掘	集落跡(弥生、古墳、奈良、平安時代)
146	C-104 郡 山	八木松二丁目78-22	住宅新築	60.59	立ち会い	官衙跡(古墳～奈良時代)
147	C-301 富 沢 水 田	富沢字敷敷4	共同住宅新築	184.01	*	水田跡(弥生、平安、平安以降)
148	C-270 砂 押 1	砂押字神領地内	都立ガム本管有庫	40.00	*	集落跡(古墳、奈良、平安時代)
149	C-154 原	西多賀三丁目2-15	住宅増築	86.95	*	集落跡(弥生、古墳、平安時代)
150	C-102 南 小 島	南小島字村東0-16	*	18.87	*	集落跡(弥生、奈良、奈良平安時代)
151	C-201 富 沢 水 田	魚崎二丁目19-3	貸家新築4棟	162.4	*	水田跡(弥生、平安、平安以降)
152	C-202 泉 崎 郷	泉崎一丁目18-14	店舗付住宅新築	142.02	*	集落跡、水田跡(縄文、古墳、平安、近世)
153	C-101 燕 武	燕武東二丁目508-1	住宅新築	110.54	*	集落跡、中継跡、官衙跡(彌生、古墳、奈良、平安時代)
154	C-225 輪 巻 1	輪巻字舟井一歩	倉庫建築	1,572.77	*	集落跡(平安時代)
156	C-526 日 辺 船 跡	日辺字中43	住宅の解体、新築	74.07	*	城跡跡(室町時代)
156	C-224 輪 巻 1	輪巻字輪巻1番	住宅増築	39.33	*	集落跡(平安時代)
157	C-235 地 蔵 溝	六丁目字行原前12番地	住宅新築	46.37	*	集落跡(中世)
158	C-102 南 小 島	南小島四丁目20-5	床屋新築	17.43	*	集落跡(弥生、古墳、奈良、平安時代)
159	C-306 青 葉 山 田	荒巻中青葉	大平岡青葉建屋	1,250.	試 掘	集落跡(後期弥生～古墳時代)
160	C-102 南 小 島	南小島四丁目82-6	住宅増築	62.10	立ち会い	集落跡(弥生、古墳、奈良、平安時代)
161	C-104 郡 山	郡山六丁目212-2	宅地増し併し増築	317.	試 掘	官衙跡(古墳～奈良時代)
162	C-136 橋 / 原	野宮字橋ノ原33-17	作業場併用住宅増築	144.46	立ち会い	集落跡(古墳～中世、中世以降)
163	C-301 富 沢 水 田	藤野三丁目218-13	住宅新築	90.09	*	水田跡(弥生、平安、平安以降)
164	C-104 郡 山	郡山六丁目286-2	*	79.36	*	官衙跡(古墳～奈良時代)
165	C-108 上 野	富田平上野337-1	独身者寮	138.29	試 掘	集落跡(縄文、奈良、平安時代)
166	C-104 富 沢 水 田	泉崎一丁目14-1	貸家新築	6,588.00㎡	立ち会い	水田跡(弥生、平安、平安以降)
167	C-104 富 沢 水 田	富沢中一本16-3-9	倉庫増築	21.6566	*	水田跡
168	C-104 富 沢 水 田	富沢三丁目218-9	住宅新築	99.14	*	*
169	C-104 富 沢 水 田	富沢字泉崎溝27-4、27-6	貸事務所建設	87.66	*	*
170	C-104 郡 山	郡山六丁目212-2	住宅新築	86.95	事前調査	官衙跡(古墳～奈良時代)
171	C-224 輪 巻 1	輪巻字輪巻一歩 111-1 112-1 112-2 113-15 17-1 17-2 17-3 17-4 17-5 17-6 17-7 17-8 17-9 17-10 17-11 17-12 17-13 17-14 17-15 17-16 17-17 17-18 17-19 17-20 17-21 17-22 17-23 17-24 17-25 17-26 17-27 17-28 17-29 17-30 17-31 17-32 17-33 17-34 17-35 17-36 17-37 17-38 17-39 17-40 17-41 17-42 17-43 17-44 17-45 17-46 17-47 17-48 17-49 17-50 17-51 17-52 17-53 17-54 17-55 17-56 17-57 17-58 17-59 17-60 17-61 17-62 17-63 17-64 17-65 17-66 17-67 17-68 17-69 17-70 17-71 17-72 17-73 17-74 17-75 17-76 17-77 17-78 17-79 17-80 17-81 17-82 17-83 17-84 17-85 17-86 17-87 17-88 17-89 17-90 17-91 17-92 17-93 17-94 17-95 17-96 17-97 17-98 17-99 17-100 17-101 17-102 17-103 17-104 17-105 17-106 17-107 17-108 17-109 17-110 17-111 17-112 17-113 17-114 17-115 17-116 17-117 17-118 17-119 17-120 17-121 17-122 17-123 17-124 17-125 17-126 17-127 17-128 17-129 17-130 17-131 17-132 17-133 17-134 17-135 17-136 17-137 17-138 17-139 17-140 17-141 17-142 17-143 17-144 17-145 17-146 17-147 17-148 17-149 17-150 17-151 17-152 17-153 17-154 17-155 17-156 17-157 17-158 17-159 17-160 17-161 17-162 17-163 17-164 17-165 17-166 17-167 17-168 17-169 17-170 17-171 17-172 17-173 17-174 17-175 17-176 17-177 17-178 17-179 17-180 17-181 17-182 17-183 17-184 17-185 17-186 17-187 17-188 17-189 17-190 17-191 17-192 17-193 17-194 17-195 17-196 17-197 17-198 17-199 17-200 17-201 17-202 17-203 17-204 17-205 17-206 17-207 17-208 17-209 17-210 17-211 17-212 17-213 17-214 17-215 17-216 17-217 17-218 17-219 17-220 17-221 17-222 17-223 17-224 17-225 17-226 17-227 17-228 17-229 17-230 17-231 17-232 17-233 17-234 17-235 17-236 17-237 17-238 17-239 17-240 17-241 17-242 17-243 17-244 17-245 17-246 17-247 17-248 17-249 17-250 17-251 17-252 17-253 17-254 17-255 17-256 17-257 17-258 17-259 17-260 17-261 17-262 17-263 17-264 17-265 17-266 17-267 17-268 17-269 17-270 17-271 17-272 17-273 17-274 17-275 17-276 17-277 17-278 17-279 17-280 17-281 17-282 17-283 17-284 17-285 17-286 17-287 17-288 17-289 17-290 17-291 17-292 17-293 17-294 17-295 17-296 17-297 17-298 17-299 17-300 17-301 17-302 17-303 17-304 17-305 17-306 17-307 17-308 17-309 17-310 17-311 17-312 17-313 17-314 17-315 17-316 17-317 17-318 17-319 17-320 17-321 17-322 17-323 17-324 17-325 17-326 17-327 17-328 17-329 17-330 17-331 17-332 17-333 17-334 17-335 17-336 17-337 17-338 17-339 17-340 17-341 17-342 17-343 17-344 17-345 17-346 17-347 17-348 17-349 17-350 17-351 17-352 17-353 17-354 17-355 17-356 17-357 17-358 17-359 17-360 17-361 17-362 17-363 17-364 17-365 17-366 17-367 17-368 17-369 17-370 17-371 17-372 17-373 17-374 17-375 17-376 17-377 17-378 17-379 17-380 17-381 17-382 17-383 17-384 17-385 17-386 17-387 17-388 17-389 17-390 17-391 17-392 17-393 17-394 17-395 17-396 17-397 17-398 17-399 17-400 17-401 17-402 17-403 17-404 17-405 17-406 17-407 17-408 17-409 17-410 17-411 17-412 17-413 17-414 17-415 17-416 17-417 17-418 17-419 17-420 17-421 17-422 17-423 17-424 17-425 17-426 17-427 17-428 17-429 17-430 17-431 17-432 17-433 17-434 17-435 17-436 17-437 17-438 17-439 17-440 17-441 17-442 17-443 17-444 17-445 17-446 17-447 17-448 17-449 17-450 17-451 17-452 17-453 17-454 17-455 17-456 17-457 17-458 17-459 17-460 17-461 17-462 17-463 17-464 17-465 17-466 17-467 17-468 17-469 17-470 17-471 17-472 17-473 17-474 17-475 17-476 17-477 17-478 17-479 17-480 17-481 17-482 17-483 17-484 17-485 17-486 17-487 17-488 17-489 17-490 17-491 17-492 17-493 17-494 17-495 17-496 17-497 17-498 17-499 17-500 17-501 17-502 17-503 17-504 17-505 17-506 17-507 17-508 17-509 17-510 17-511 17-512 17-513 17-514 17-515 17-516 17-517 17-518 17-519 17-520 17-521 17-522 17-523 17-524 17-525 17-526 17-527 17-528 17-529 17-530 17-531 17-532 17-533 17-534 17-535 17-536 17-537 17-538 17-539 17-540 17-541 17-542 17-543 17-544 17-545 17-546 17-547 17-548 17-549 17-550 17-551 17-552 17-553 17-554 17-555 17-556 17-557 17-558 17-559 17-560 17-561 17-562 17-563 17-564 17-565 17-566 17-567 17-568 17-569 17-570 17-571 17-572 17-573 17-574 17-575 17-576 17-577 17-578 17-579 17-580 17-581 17-582 17-583 17-584 17-585 17-586 17-587 17-588 17-589 17-590 17-591 17-592 17-593 17-594 17-595 17-596 17-597 17-598 17-599 17-600 17-601 17-602 17-603 17-604 17-605 17-606 17-607 17-608 17-609 17-610 17-611 17-612 17-613 17-614 17-615 17-616 17-617 17-618 17-619 17-620 17-621 17-622 17-623 17-624 17-625 17-626 17-627 17-628 17-629 17-630 17-631 17-632 17-633 17-634 17-635 17-636 17-637 17-638 17-639 17-640 17-641 17-642 17-643 17-644 17-645 17-646 17-647 17-648 17-649 17-650 17-651 17-652 17-653 17-654 17-655 17-656 17-657 17-658 17-659 17-660 17-661 17-662 17-663 17-664 17-665 17-666 17-667 17-668 17-669 17-670 17-671 17-672 17-673 17-674 17-675 17-676 17-677 17-678 17-679 17-680 17-681 17-682 17-683 17-684 17-685 17-686 17-687 17-688 17-689 17-690 17-691 17-692 17-693 17-694 17-695 17-696 17-697 17-698 17-699 17-700 17-701 17-702 17-703 17-704 17-705 17-706 17-707 17-708 17-709 17-710 17-711 17-712 17-713 17-714 17-715 17-716 17-717 17-718 17-719 17-720 17-721 17-722 17-723 17-724 17-725 17-726 17-727 17-728 17-729 17-730 17-731 17-732 17-733 17-734 17-735 17-736 17-737 17-738 17-739 17-740 17-741 17-742 17-743 17-744 17-745 17-746 17-747 17-748 17-749 17-750 17-751 17-752 17-753 17-754 17-755 17-756 17-757 17-758 17-759 17-760 17-761 17-762 17-763 17-764 17-765 17-766 17-767 17-768 17-769 17-770 17-771 17-772 17-773 17-774 17-775 17-776 17-777 17-778 17-779 17-780 17-781 17-782 17-783 17-784 17-785 17-786 17-787 17-788 17-789 17-790 17-791 17-792 17-793 17-794 17-795 17-796 17-797 17-798 17-799 17-800 17-801 17-802 17-803 17-804 17-805 17-806 17-807 17-808 17-809 17-810 17-811 17-812 17-813 17-814 17-815 17-816 17-817 17-818 17-819 17-820 17-821 17-822 17-823 17-824 17-825 17-826 17-827 17-828 17-829 17-830 17-831 17-832 17-833 17-834 17-835 17-836 17-837 17-838 17-839 17-840 17-841 17-842 17-843 17-844 17-845 17-846 17-847 17-848 17-849 17-850 17-851 17-852 17-853 17-854 17-855 17-856 17-857 17-858 17-859 17-860 17-861 17-862 17-863 17-864 17-865 17-866 17-867 17-868 17-869 17-870 17-871 17-872 17-873 17-874 17-875 17-876 17-877 17-878 17-879 17-880 17-881 17-882 17-883 17-884 17-885 17-886 17-887 17-888 17-889 17-890 17-891 17-892 17-893 17-894 17-895 17-896 17-897 17-898 17-899 17-900 17-901 17-902 17-903 17-904 17-905 17-906 17-907 17-908 17-909 17-910 17-911 17-912 17-913 17-914 17-915 17-916 17-917 17-918 17-919 17-920 17-921 17-922 17-923 17-924 17-925 17-926 17-927 17-928 17-929 17-930 17-931 17-932 17-933 17-934 17-935 17-936 17-937 17-938 17-939 17-940 17-941 17-942 17-943 17-944 17-945 17-946 17-947 17-948 17-949 17-950 17-951 17-952 17-953 17-954 17-955 17-956 17-957 17-958 17-959 17-960 17-961 17-962 17-963 17-964 17-965 17-966 17-967 17-968 17-969 17-970 17-971 17-972 17-973 17-974 17-975 17-976 17-977 17-978 17-979 17-980 17-981 17-982 17-983 17-984 17-985 17-986 17-987 17-988 17-989 17-990 17-991 17-992 17-993 17-994 17-995 17-996 17-997 17-998 17-999 17-1000 17-1001 17-1002 17-1003 17-1004 17-1005 17-1006 17-1007 17-1008 17-1009 17-1010 17-1011 17-1012 17-1013 17-1014 17-1015 17-1016 17-1017 17-1018 17-1019 17-1020 17-1021 17-1022 17-1023 17-1024 17-1025 17-1026 17-1027 17-1028 17-1029 17-1030 17-1031 17-1032 17-1033 17-1034 17-1035 17-1036 17-1037 17-1038 17-1039 17-1040 17-1041 17-1042 17-1043 17-1044 17-1045 17-1046 17-1047 17-1048 17-1049 17-1050 17-1051 17-1052 17-1053 17-1054 17-1055 17-1056 17-1057 17-1058 17-1059 17-1060 17-1061 17-1062 17-1063 17-1064 17-1065 17-1066 17-1067 17-1068 17-1069 17-1070 17-1071 17-1072 17-1073 17-1074 17-1075 17-1076 17-1077 17-1078 17-1079 17-1080 17-1081 17-1082 17-1083 17-1084 17-1085 17-1086 17-1087 17-1088 17-1089 17-1090 17-1091 17-1092 17-1093 17-1094 17-1095 17-1096 17-1097 17-1098 17-1099 17-1100 17-1101 17-1102 17-1103 17-1104 17-1105 17-1106 17-1107 17-1108 17-1109 17-1110 17-1111 17-1112 17-1113 17-1114 17-1115 17-1116 17-1117 17-1118 17-1119 17-1120 17-1121 17-1122 17-1123 17-1124 17-1125 17-1126 17-1127 17-1128 17-1129 17-1130 17-1131 17-1132 17-1133 17-1134 17-1135 17-1136 17-1137 17-1138 17-1139 17-1140 17-1141 17-1142 17-1143 17-1144 17-1145 17-1146 17-1147 17-1148 17-1149 17-1150 17-1151 17-1152 17-1153 17-1154 17-1155 17-1156 17-1157 17-1158 17-1159 17-1160 17-1161 17-1162 17-1163 17-1164 17-1165 17-1166 17-1167 17-1168 17-1169 17-1170 17-1171 17-1172 17-1173 17-1174 17-1175 17-1176 17-1177 17-1178 17-1179 17-1180 17-1181 17-1182 17-1183 17-1184 17-1185 17-1186 17-1187 17-1188 17-1189 17-1190 17-1191 17-1192 17-1193 17-1194 17-1195 17-1196 17-1197 17-1198 17-1199 17-1200 17-1201 17-1202 17-1203 17-1204 17-1205 17-1206 17-1207 17-1208 17-1209 17-1210 17-1211 17-1212 17-1213 17-1214 17-1215 17-1216 17-1217 17-1218 17-1219 17-1220 17-1221 17-1222 17-1223 17-1224 17-1225 17-1226 17-1227 17-1228 17-1229 17-1230 17-1231 17-1232 17-1233 17-1234 17-1235 17-1236 17-1237 17-1238 17-1239 17-1240 17-1241				

調査番号	遺跡名	所在地	原 因	開発面積	処 置	遺 跡 の 性 格
185	C-301 富沢水田	長町丁目301-5	宇路西建設	111.52㎡	立ち会い	水田跡（弥生、古墳、奈良、平安時代）
186	C-301 富沢水田	富沢一丁目12-26	病院増築	56.46	試掘	＊ ＊
187	C-135 橋ノ美	富沢一丁目33-12	住宅新築	65.61	立ち会い	集落跡（古墳～中世、中世以降）
188	C-278 橋ノ美	郡山七丁目208-9	共同住宅新築	116.22	＊	集落跡（古墳、奈良、平安時代）
189	C-501 仙台城	川内通築港宅591号	住宅の解体新築	90.28	＊	城跡跡（南北朝～江戸時代）
190	C-185 長町清水	大野市字清水地内	市道開削	80.00	＊	古墳？
191	C-303 富沢水田	長町字島原34-6	住宅の新築	61.07	＊	水田跡（弥生、古墳、奈良、平安時代）
192	C-192 土橋	土橋一丁目10番8号	住宅の解体、新築	81.98	＊	集落跡（縄文時代晩期）
193	C-301 富沢水田	島崎一丁目24番9号	共同住宅の新築	127.61	＊	水田跡（弥生、古墳、奈良、平安時代）
194	C-164 郡山	郡山二丁目5-20	個人住宅増築	6.82	＊	官衙跡（古墳～奈良時代）
195	C-285 地蔵橋	六丁目字打屋前11-1	ホテル新築	約1,050.00	試掘	集落跡（中世）
196	C-184 郡山	郡山六丁目6-30	住宅新築	78.35	立ち会い	官衙跡（古墳～奈良時代）
197	C-511 新井城	古城二丁目3-1	作業所新築	230.00	＊	城跡跡（戦国～江戸時代）
198	C-294 山田桑畑遺構	山田字田中前48-8	住宅改築	65.80	＊	桑畑跡
199	C-284 明星敷	六丁目字後田南17-2他	宅地造成	1,895.55	試掘	集落跡（平安時代）
200	C-501 仙台城	川内通築港地	住宅解体、新築	48.61	立ち会い	城跡跡（南北朝～江戸時代）
201	C-108 上野	富田字上野西40	排水管布設	62.5	＊	集落跡（縄文、奈良、平安時代）
202	C-108 上野	富田字上野西7、11	＊	82.00	試掘	＊ ＊
203	C-104 郡山	郡山西丁目103-20	住宅新築	73.22	立ち会い	官衙跡（古墳～奈良時代）
204	C-102 南小島	達見塚一丁目42-32	住宅増改築	56.21	＊	集落跡（弥生、古墳、奈良、平安時代）
205	C-213 戸内I	四郎丸字明神92	納屋新築	90.41	＊	集落跡（古墳、奈良、平安時代）
206	C-284 明星敷	六丁目字北屋敷17-2	丁場新築	187.85	＊	集落跡（平安時代）
207	C-284 明星敷	六丁目字本新田角34番地	工場新築	285.54	試掘	＊ ＊
208	C-224 懸巻I	懸巻字懸巻1番29-2	住宅新築	109.39	立ち会い	＊ ＊
209	C-102 南小島	南小島西丁目90-1	共同住宅新築	242.82	試掘	集落跡（弥生、古墳、奈良、平安時代）
210	C-224 懸巻I	懸巻字懸巻1番74-2 113、1、115、115	＊	197.59	立ち会い	集落跡（平安時代）
211	C-104 郡山	郡山二丁目14-16	住宅新築	154.32	試掘	官衙跡（古墳～奈良時代）
212	C-265 地蔵橋	六丁目字打屋前17番地	塙倉新築	28.98	立ち会い	集落跡（中世）
213	C-510 南口城	南口館1番	病院管理棟建設	231.27	試掘	城跡跡（中世）
214	C-108 上野	富田字上野地内	赤道開通工事	2,300	事前調査	集落跡（縄文、奈良、平安時代）
215	C-294 山田桑畑	富沢川精橋47-4他	遊園路（歩）取得施設		試掘	桑畑跡

II. 調査報告

1. 調査事項

事項	遺跡名	① 今泉城跡 (C-507)	② 富沢水田遺跡 (C-301)
所在地		仙台市今泉字久保田85-3	仙台市長町南四丁目60
申請者住所		仙台市今泉字久保田46	仙台市五橋三丁目2-1
申請者氏名		山田菊雄	東北電気通信局長 佐藤義雄
開発内容		宅地造成	電話ケーブル布設工事
対象面積		928㎡	499㎡
調査面積		28㎡	46㎡
調査期間		昭和58年6月15日～6月18日	昭和58年6月17日、7月3日～7月19日
調査主体		仙台市教育委員会	
調査担当		仙台市教育委員会社会教育課文化財調査係	
担当職員		柳沢・金森	佐藤 隆・金森・柳沢



遺跡位置図

1. 今泉城跡

1. 遺跡の立地と現状

今泉城跡は、仙台市の東南部、仙台市今泉字久保田に位置している。遺跡は沖積平野の低湿地の微高地上に立地し、標高は約3.5mである。本遺跡は中世の館跡として周知されていたが、昭和54年、56年の調査で、鎌倉中期～室町初期と室町後半～江戸時代初頭と異った位置に城館が確認されるとともに、近世、古墳、弥生時代の遺構・遺物・縄文時代の遺物が検出され、現在では縄文時代から近世の遺跡＝今泉遺跡（今泉城跡を含む）として周知されている。

2. 調査に至る経過

貸家住宅建設に伴う基礎部分の掘削深度が、遺構を破壊する恐れがあるために、住宅建設予定箇所に、約4×7mの調査区を設定し、発掘調査を実施した。その結果、基礎部分が盛土および耕作土中におさまることが確認されたため、調査は遺跡の概要をつかむ遺構確認程度に留め、完掘は行わなかった。

3. 基本層序

I～IX層まで確認した。このうちVI～IX層は1号溝跡の壁面観察による。各層は水平堆積を成す。

第I層―盛土。第II層―耕作土。第III層―シルトないし粘土質シルト層。炭化粒・粘土粒を含む。この層の上面で遺物・遺構が確認された。第IV層―シルト層。炭化粒・酸化鉄を含む。第V層―粘質シルト層。管状酸化鉄を含む。この層の上面で遺物・遺構が確認された。第VI層―粘土層。酸化鉄を含む。第VII層―粘土層。酸化鉄を少量含む。第VIII層―シルト質粘土層。グライ化が進んでいる。第IX層―シルト質粘土層。グライ化がかなり進んでいる。

4. 発見遺構

調査区内で検出された遺構は、溝跡1条、ピット10個、他である。

溝跡（1号溝跡）は、第III層上面で調査区の東壁にそって検出された。断面形は逆台形状をなすが、検出面下50cm以下の壁面は急勾配になる特徴がある。堆積土は8枚に大別され、さらにそれらは45枚に細別された。堆積土中からは、陶器・石製品・植物遺存体等が出土した。この溝跡の性格は、水の動きが停滞した状況を示す堆積土の土性、整形された溝壁面から、土地を区画した水路と考えられる。

ピットは第III層上面で1個、第V層上面で9個確認した。ピット2・3では柱痕跡を確認した。

その他の遺構として、調査区の西南部で、遺構の可能性のあるやや不鮮明なプランを数箇所確認した。

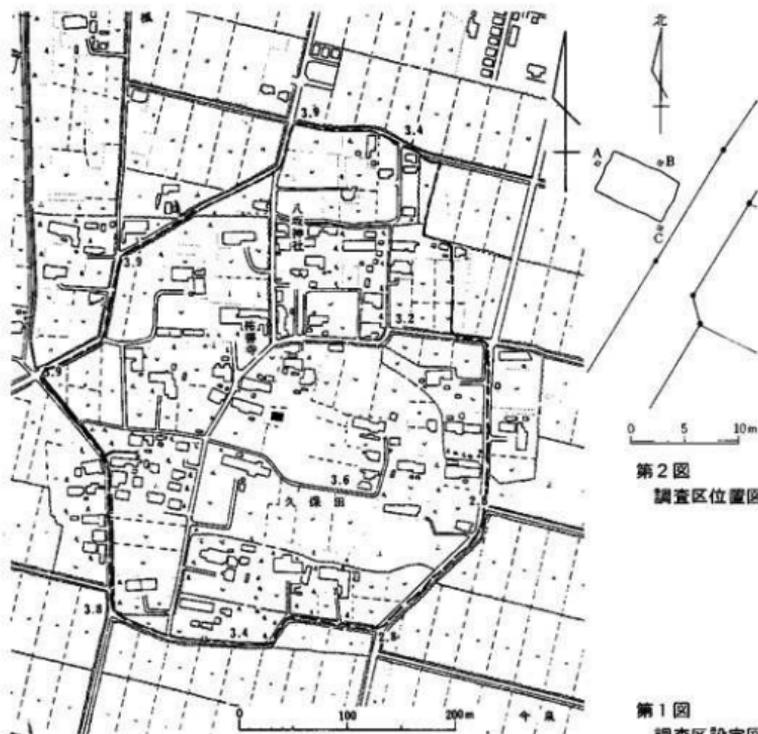
5. 出土遺物

Ⅲ層上面から、土師器・須恵器・中世陶器・近世陶器が24点、Ⅴ層上面から土師器が5点出土した。又、ピット1・2・3の各埋土中から、土師器が各1点ずつ出土し、1号溝からは、須恵器、瓦が各1点、中世陶器が2点出土した。

6. まとめ

今回の調査で検出された遺構は、出土遺物の内容、遺構の検出層位から、中世から近世のものと考えられる。

又、遺構の検出状況では、調査区の東壁にそって、幅2m以上と推定される溝が南東方向に1条検出されたが、それは昭和 年調査の2号溝に対応する可能性があるものの、調査区に制限されて、確証は得られなかった。ただこの溝を境に、西側部の方が、検出された遺構の密度が稀薄である特徴が認められた。



層 No	土色	土性	その他
IV	10YR ₆ におい黄褐色	シルト	炭化粒、淡白色シルト粒、酸化鉄を含む。
V	10YR ₆ 褐色	粘土質シルト	上面に管状酸化鉄が分布。
VI	Hue 7.5YR ₆ 黄褐色	粘土	
VII	10YR ₆ 黄褐色	粘土	
VIII	Hue 2.5Y 淡黄色	シルト質粘土	
IX	5G ₁ 淡黄色	シルト質粘土	
④	10YR ₆ におい黄褐色	シルト	淡黄色シルト粒を含む。
⑤	10YR ₆ 褐色	シルト	炭化粒を含む。
⑥	10YR ₆ 暗褐色	シルト	
⑦	10YR ₆ 褐色	シルト	炭化粒を少量含む。

III層はIV層に比べて炭化粒、粘土塊を多く含む。 IV層はIII層に比べてよりしまっている。

第2表 第1号溝・埋土註記表

層 No	土色	土性	その他
1	10YR ₆ 明黄褐色	シルト	淡黄褐色、黄色の粘土粒を含む
2	10YR ₆ 黄褐色	シルト	炭化粒を含む
3	10YR ₆ 黄褐色	シルト	2層より粘性強く、炭化粒・淡白色粘土粒をわずかに含む
4	10YR ₆ 明黄褐色	シルト	淡黄褐色・黄色の粘土塊を含む
5	10YR ₆ におい黄褐色	シルト	やや粘性がある、炭化粒を少量含む
6	10YR ₆ 褐色	粘土質シルト	1～5層に比べ、炭化粒を多く含む
7	10YR ₆ 褐色	粘土質シルト	やや灰黄色をおびる。6層より粘性強い、炭の塊を含む部分がある
8	10YR ₆ におい黄褐色	粘土質シルト	7層よりもより灰黄色をおび、粘性が強くなる
9	10YR ₆ におい黄褐色	粘土質シルト	淡白色粒を含む、全体的にやや白っぽく、炭化物を少量含む
10	10YR ₆ 暗褐色	粘土質シルト	炭化物を含み、全体的に黒味をおびる
11	10YR ₆ 灰黄褐色	粘土質シルト	炭化粒、白色シルト、白色粘土粒を含む、全体的に灰黄色をおびる
12	10YR ₆ におい黄褐色	シルト	酸化鉄粒、マンガン粒を含みかたよくしまっている。炭化粒も少量含む
13	10YR ₆ 灰黄褐色	粘土質シルト	白色シルト粒・炭化粒を含む
13'	10YR ₆ 灰黄褐色	粘土質シルト	白色シルト粒を含む。炭化物を含む
14	10YR ₆ 黄褐色	シルト	炭・炭化粒を含み全体的に黒味をおびる。骨片を含む
15	10YR ₆ 灰白色	シルト	酸化鉄粒を極少量含む
16	10YR ₆ におい黄褐色	シルト	下に酸化鉄粒・マンガン粒を含む
17	10YR ₆ におい黄褐色	シルト	酸化鉄粒を極少量含む
18	10YR ₆ 明黄褐色	シルト	酸化鉄粒を少量にマンガン粒もやや多く含む。12層の土性と類似している。
19	10YR ₆ 灰黄褐色	粘土	淡白色シルト粒を含む部分がある。
20	10YR ₆ 灰黄褐色	粘土	酸化鉄粒を含む有機物(カルク、木片、他)
21	10YR ₆ 灰黄褐色	シルト	粘性がある。酸化鉄粒、マンガン粒、炭化粒を含む
22	10YR ₆ におい黄褐色	粘土	酸化鉄粒、マンガン粒を含む。有機物は含まない
23	10YR ₆ におい黄褐色	シルト	酸化鉄粒、マンガン粒を含む
24	10YR ₆ 灰黄褐色	粘土	酸化鉄粒、有機物(木片等)を含む
25	10YR ₆ 墨褐色	粘土	酸化鉄粒、淡白色粘土粒を含む
26	2.5GY ₁ 暗オリーブ灰	粘土	
27	7.5GY ₁ 暗緑灰色	粘土	有機物を含む
28	5GY ₁ 暗オリーブ灰色	粘土	*
29	7.5GY ₁ 暗緑灰色	粘土	*
30	Hue 10Y ₃ オリーブ黒色	粘土	*
31	Hue 10Y ₃ オリーブ黒色	粘土	酸化鉄粒を含む。有機物を含む
32	5GY ₁ 暗オリーブ灰色	粘土	有機物を含む
33	Hue 10Y ₃ オリーブ黒色	粘土	*
34	10YR ₆ 暗褐色	粘土	酸化鉄粒を含む。有機物を含む
35	Hue 10Y ₃ オリーブ黒色	粘土	ややシルトっぽい。有機物を含む
36	Hue 5Y ₃ 灰オリーブ色	粘土	有機物を含まない
37	Hue 10Y ₃ オリーブ灰色	粘土	有機物を含む
38	Hue 10Y ₃ 灰色	粘土	ややシルトっぽい。有機物を含む
39	Hue 10Y ₃ 黒色	粘土	*
40	Hue 10Y ₃ 灰色	粘土	有機物を含む
41	Hue 10Y ₃ 灰色	粘土	*

層 No	土 色	土 性	そ の 他
42	Hue10Y 灰色	粘 土	有機物を含む
43	10G 緑褐色	粘 土	#
44	Hue10Y 黒色	粘 土	#
45	10G 暗緑灰色	粘 土	ややシルトっぽい、有機物を含む
①	3層と6層を手々に含むブロック		
②・③	3層のブロック		

第3表 ビット埋土・註記表

ビット No	土 色	土 性	そ の 他
1 土	2.5 Y 黄褐色	粘土質シルト	酸化鉄粒を含む
2 (埋 土)	10YR 褐色	#	
2 (柱痕跡)	10YR におい黄褐色	#	
3 (埋 土)	10YR におい黄褐色	#	
3 (柱痕跡)	10YR 暗褐色	#	
4	10YR におい黄褐色	#	酸化鉄粒を少量含む
5	10YR 暗褐色	#	炭化物を少量含む
6	10YR 灰黄褐色	#	酸化鉄粒を多量に含む
7	10YR 黒色	#	酸化鉄粒を多量に含む
8	10YR 灰黄褐色	#	酸化鉄粒を少量含む
9	10YR 灰黄褐色	#	酸化鉄粒を少量含む

ビット2・3は形状・埋土・柱痕跡等類似している。

第4表 土色変化部分註記表

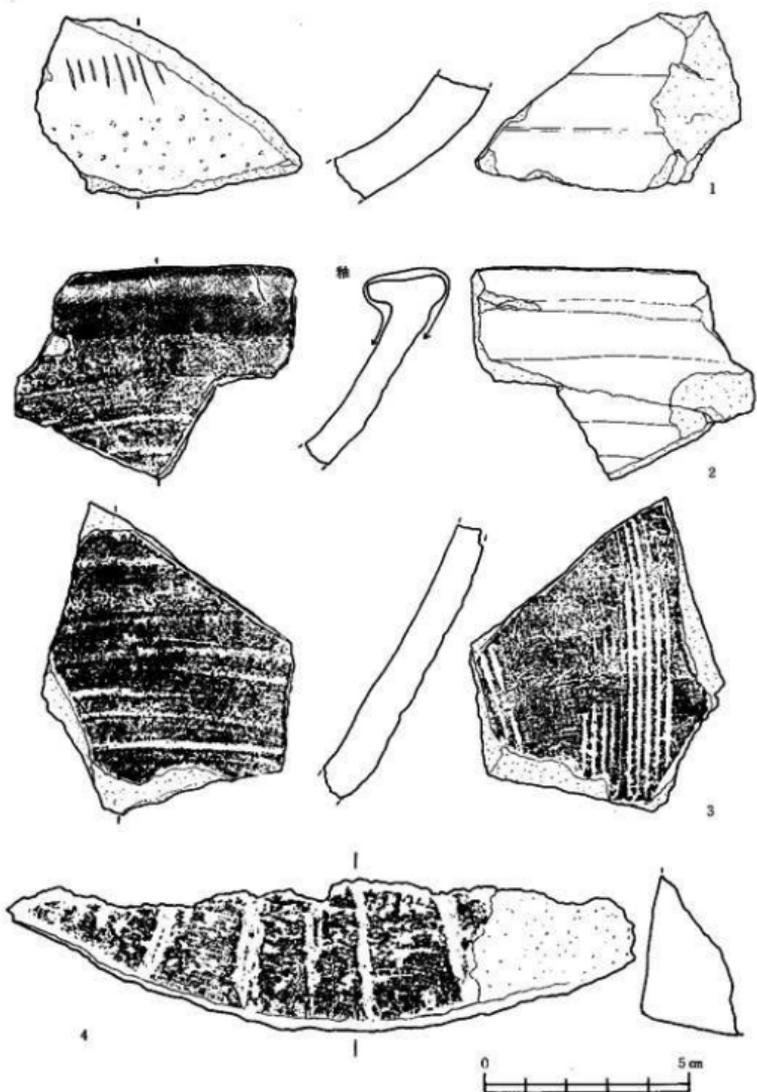
No	土 色	土 性	そ の 他
A	10YR におい黄褐色	シルト	酸化鉄粒を含むV層に比べて白っぽい
B	10YR 灰黄褐色	#	酸化鉄粒を含む。D層に比べてしまりが無い
C	10YR 褐色	#	酸化鉄粒を含む。V層に比べて白っぽい
D	10YR 暗褐色	#	酸化鉄粒を含む。V層に比べて黒っぽく、土性はより粗である

第5表 基本層序、出土遺物集計観察表

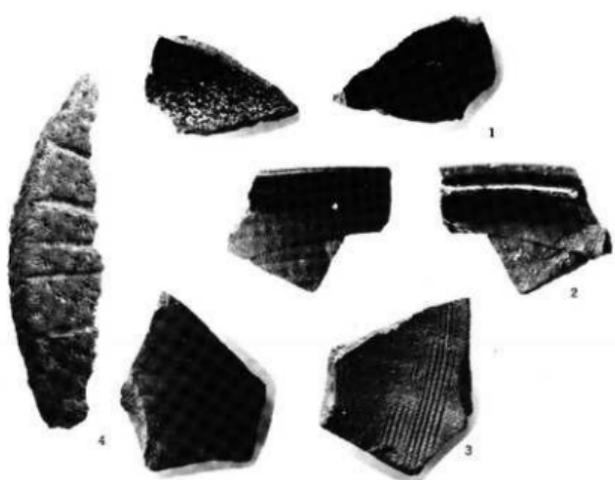
基本層序名	名 称	部 位	点数	遺物番号	図版番号	備 考
Ⅲ 層 上 面	土師器	体部	19	1	第6図3	常滑
	須恵器(甕)	#	1			
	中世陶器(摺鉢)	#	1			
	# (#)	口縁部	1			
V 層 上 面	近世陶器(不明)	体部	2	2		
	土師器	体部	4			
	#	口縁部	1			

第6表 遺構出土遺物集計観察表

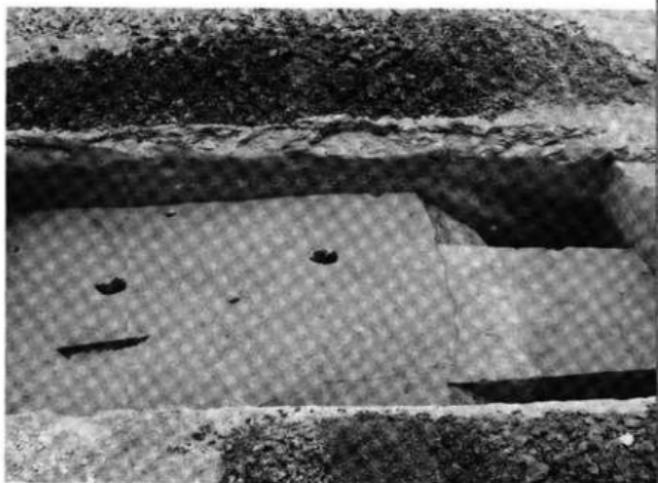
遺構名	層序名	名 称	部 位	点数	遺物番号	図版番号	備 考
ビット	1	埋土中	土師器	体部	1	5	
#	2	柱痕部	#	#	1	6	
#	3	埋土中	#	#	1	10	
1 号 溝	6	須恵器(甕)	#	1	4		
	6	中世陶器(甕)	肩部	1	8	第6図1	
	9	石臼		1	9	第6図4	
	11	瓦		1	14		



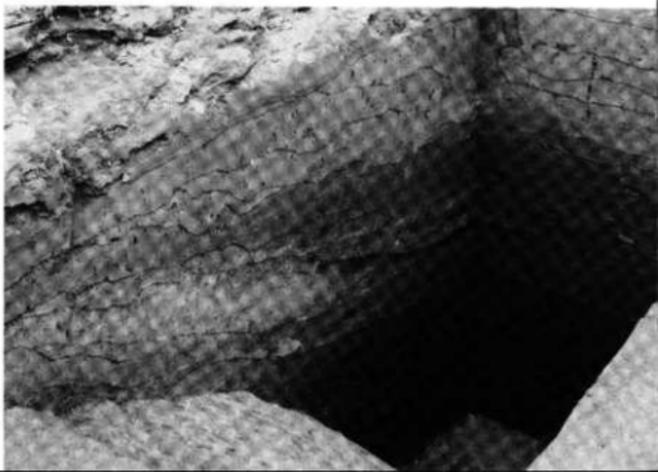
第6回出土遺物



1. 出土遺物



2. 遺構検出状況



3. 1号溝検出状況

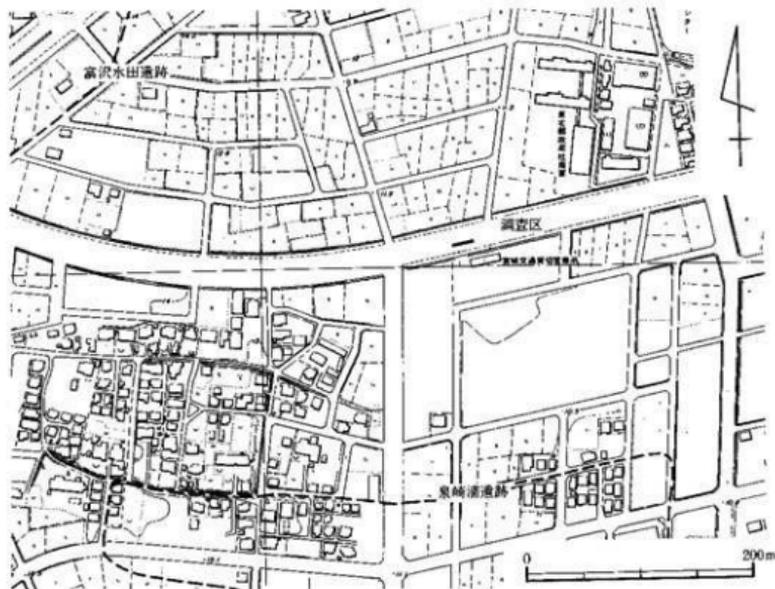
2. 富沢水田遺跡

1. 遺跡の位置と環境

富沢水田遺跡は、東北本線長町駅の南西 1.5km、仙台市富沢に位置する。富沢地区は、沖積平野である「宮城野海岸平野」に含まれ、地形区分では「郡山低地」にあたる。郡山低地は、広瀬・名取両河川により画され、自然堤防が良好に発達し、後背湿地が随所に広がっている。富沢水田遺跡は、郡山低地西半部の後背湿地にその殆どが立地し、標高は9～16mである。

昭和56年4月から行われた、仮称仙台市体育館建設に伴う山口遺跡の調査の結果、北半の後背湿地から平安時代の水田跡が、南半の自然堤防上からは住居跡が検出された。また、プラント・オパール分析では、平安時代以前の水田跡の存在も予想された。郡山低地西半部では、昭和56年度から、仙台市高速鉄道関係遺跡の調査が行われていたが、後背湿地の路線敷部分から平安時代の水田跡が検出されたほか、弥生時代、中世の水田跡が検出されるに及び、郡山低地西半部の後背湿地には、水田跡が広く存在することがほぼ確実となった。

遺跡の周辺には、数多くの遺跡が分布しており、その時期は旧石器時代から近世にまで及び富沢地区では、縄文時代、弥生時代、平安時代、および中世の遺構が確認されている。



第7図 調査区位置図

2. 調査に至る経過

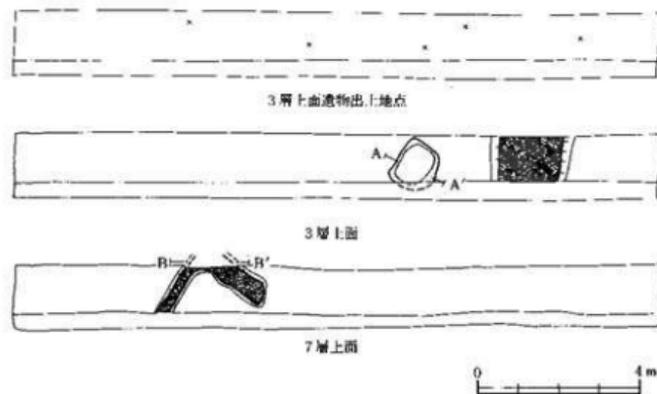
昭和57年12月3日付、東土木第128号で、仙台市五橋三丁目2番1号、東北電気通信局長佐藤義雄氏より、仙台市長町南四丁目2番地付近において、電話線ケーブル布設のための河道開削工事を実施する旨の発掘通知が提出されたので、工事に先行し、昭和58年6月17日、T区の東端で試掘調査を実施した。その結果、2層および7層上面で堆積の乱れが観察され、水田遺構の存在が推測されたので、申請者側と協議を重ねた結果、昭和58年7月から発掘調査に着手した。

調査箇所は両側が車輻道路として使用されており、振動等によるトレンチ壁面崩壊の危険性があったため、工区両側に鋼矢板を3m幅で打込んだ。トレンチは、鋼矢板の間隔2.3m幅で長さ20mを工区内に設定し、盛土(厚さ約2m)、旧水田耕作土(約20cm)を重機により排土した。その後、両側に通路、排水溝を残し、東西方向で、幅1.6m、長さ16mの部分の調査を行った。幅の狭い調査区のため、南壁に沿って幅40cmの先行トレンチを入れ、層序を確認しながら、各層上面での精査を実施した。

重機による掘削、および降水等の影響で、2層上面は殆んど削平を受けており、この上面での遺構検出は不可能であったが、3層上面で土壇1基、南北方向の畦畔遺構1条を検出し、また、5層上面でもトレンチ内でL字形に折れ曲がる畦畔遺構1条を検出した。

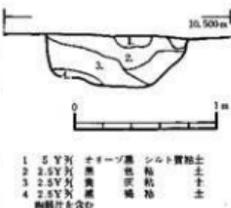
3. 発見遺構と出土遺物

当調査区において認められた基本層位は、1～10層である。土質の点から大きく、1～3層の粘土質系のシルト層、4～6層の粘土層、7～8層の泥炭質粘上層、9～10層の砂質系の粘



第8図 検出遺構平面図

土層に分けられる。この基本層位は、当調査区の南方30mの仙台市高速鉄道関係遺跡鍋田工区の調査における基本層位とほぼ同様であり、対応を示す。各層位面は、トレンチ西端で高く、東に傾斜し、東端との比高差は10~20mである。



第10図 土城断面図

(1) 3層上面：2層黒褐色粘土の下層、標高10.4m前後で、暗褐色粘土質シルト層(3b層)をトレンチ全面で確認し、トレンチ東寄り、畦畔1条、土坑1基を検出した。畦畔は、にぶい黄褐色粘土質シルトの純層(3a層)で、方向は南北方向である。断面形は台形状を呈す。上端幅140~160cm、下端幅150~200cmである。畦畔上面と水田面との比高差は、東側では9~14cm、西側では4~8cmである。3b層は、にぶい黄褐色粘土質シルトと黒褐色粘土を斑状に含み、4・5層堆積土が攪拌されて混入されたものと考えられ、畦畔に伴う耕作土と捉えられる。また、層中には灰白色火山灰をブロック状に含み、3b層上面から土師器片3点、須恵器片1点出土しており、平安時代以降の水田跡と考えられる。土坑は、長径1.2m、短径1.1m、深さ40cm、平面形は不整形で、断面形は逆台形を呈す。堆積土2層黒色粘土から陶器片を1点出土している。

(2) 5層上面：トレンチ西寄り、L字状に折れ曲がる畦畔1条を検出した。5層はやや褐灰色がかかった堆積土層であるが、黒色粘土で色調・土性が均一な部分が、先行トレンチ壁面の観察でも、わずかに盛り上がり、畦畔として捉えられた。作土との区別は、褐灰色粘土の混入の有無による。方向は、幅の広い大畦が南東方向に、幅の狭い小畦が南西方向に延びている。断面形は扁平な逆台形を呈す。上端幅は大畦が45~55cm、小畦が20~25cm、下端幅は大畦が60~70cm、下畦が35~40cmである。畦畔上面と水田面との比高差は4~6cmである。また、この畦畔の西側、トレンチ西端で10ヶ所ほど、5層上面で不規則な深さ約10cmの凹みを検出した。形態・方向性に規則性はなく、堆積土は粗砂であったが、牛馬もしくは人間の足跡の可能性も考えられた。

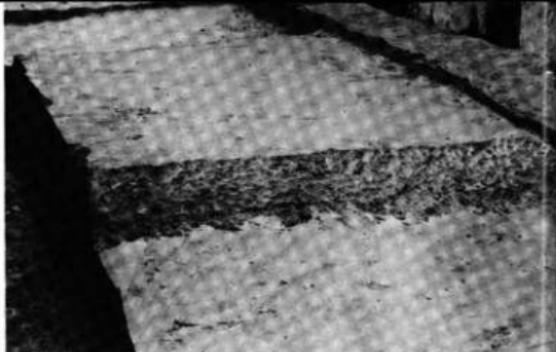
(3) 7層：この堆積層は、上面およびトレンチ壁面での観察で水田跡と特定することはできなかったが、近接する鍋田工区の調査で、7a層が弥生時代と考えられる水田堆積土、7b層が水田耕作土として捉えられており、層位的にも対応を示すことから、水田跡と捉えておく。

4. ま と め

今回の調査では、遺跡の範囲確認が主たる目的であったが、3層上面および5層上面で畦畔が検出され、当調査区の北側にも水田遺構が広がっていく可能性が確認された。今回の調査では確認できなかったが、2層上面および7層上面での水田遺構検出も可能であろう。畦畔の方向、規格性など、より広域な調査の成果を待ちたい。



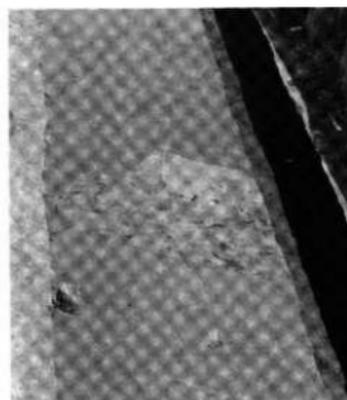
3層上面畦畔検出状況(西より)



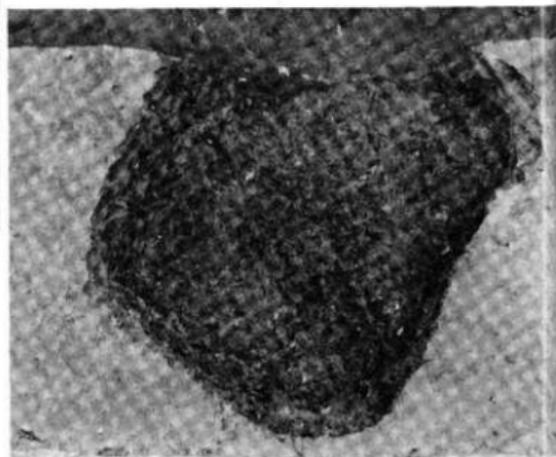
3層上面検出畦畔(東より)



トレンチ南壁セクション(3層上面検出畦畔)



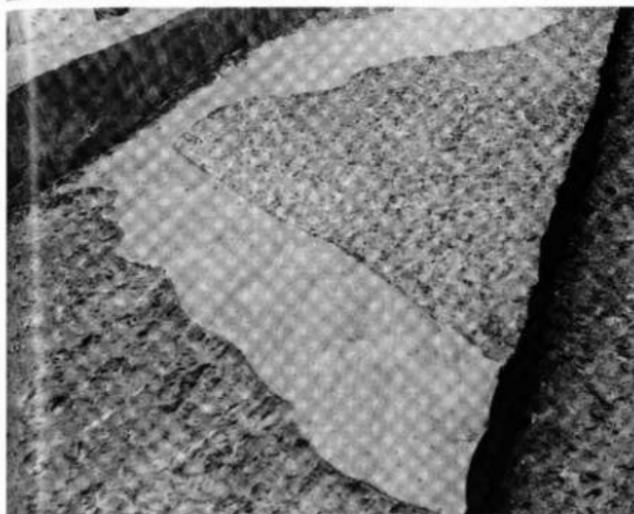
3層上面土塚検出状況(西より)



3層上面検出土塚(北より)



5層上面鉄筋検出状況(北より)



5層上面検出鉄筋(西より)



トレンチ北壁セクション(5層上面鉄筋)



トレンチ全景(8層上面・東より)

3. 遠見塚古墳出土の条痕文土器片

佐藤甲二・結城慎一・工藤哲司

ここに紹介する資料は、史跡遠見塚古墳発掘調査の際、表土層より出土したものである。¹⁾
この土器は、東北中部に於ける弥生時代初期段階を考える上で、重要な資料と成り得るものと思われ、本報告に先がけ発表したしだいである。

遠見塚古墳は、仙台市域のほぼ中央、仙台市遠見塚一丁目地内に位置し、広瀬川左岸の標高10m前後の自然堤防上に位置する。当古墳は、全長約110mの前方後円墳で、東北地方では規模の点で第三位を誇る大型のものである。古墳を含めた周辺はまた、弥生時代中期から平安時代にわたる集落が形成された南小泉遺跡がひろがっている。

土器片は、口縁部から体部上半にかけてのものである。口縁部が内湾しており、深鉢形の器形を呈するものと思われる。外面は、貝殻状施文具による条痕文が全面に施こされている。条痕の底面幅は1.5mm前後、各条痕間の幅1mm前後を測る。条痕は6条程が1単位となっており、1単位の幅は1.5cm前後である。条痕の方向は、口縁上部が横位、その下位の約2cm幅がやや斜位、これより下位になるとより角度の大きい斜位方向となる。施文順序は下から上となっている。口唇部及び内面は、ていねいな横位方向の磨きが施こされている。器厚は約5mm。胎土には石英粒が多量に含まれるのが目立つ。焼成は良好で、外面黒褐色、内面褐色を呈す。

この土器の外面施文一条痕文一は、東海地方西部(愛知県中心)で成立し、その後、東日本まで波及していった条痕文系土器²⁾に類例が求められる。さらに、条痕方向(単一方向)、器形の点より、条痕文系土器内でも古い段階に位置づけられる可能性もある。³⁾

現在まで東北地方に於いて条痕文系土器は、福島県中部以南にまでしか分布を示さなかった。⁴⁾しかし、当資料によりその北限は、一挙に宮城県中部の仙台平野にまで分布範囲を広げたといえる。これから、遠見塚古墳の資料整理が進むにつれ、この種の資料が増加すること、また、仙台平野に於いて、今後、共伴遺物を明確に出来るような遺跡の発見に期待したい。なお、本資料については紅村弘氏よりさまざまな御教示を得た。厚く御礼申し上げます。

註

1. 20トレンチ内出土。結城慎一・工藤哲司「史跡遠見塚古墳昭和57年度環境整備調査報告書」仙台市教育委員会 1983
2. 紅村弘氏の愛知県を中心とする編年では、陣王式から水神平田式(岩濤式)までのものをさす。紅村弘「弥生時代成立の研究」1983 82~91・111P
3. 紅村弘氏の御教示による。紅村氏によれば、水神平田式以後の深鉢は、条痕が横方向(羽状)となるものが多く、口縁部は外反し、条痕の形も異なり、当資料とは区別され、あえて類似性を求めるならば陣王式が上げられる(内面調整の上では全く異なる)とのことであった。
4. 古い段階のものでは会津地方の烏科遺跡・上野遺跡が、新しい段階では中通り地方の烏内遺跡出土土器が上げられる。紅村弘「弥生時代成立の研究」1983 112~113P

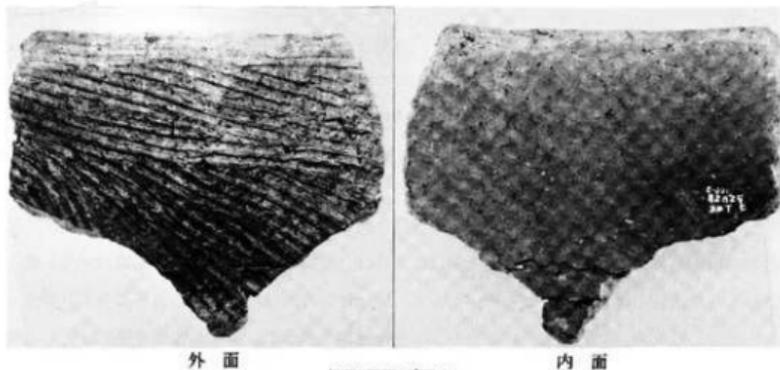


- 縄文時代
1. 神根遺跡(～平安)
 2. 中郷西遺跡(～平安)
- 弥生時代
3. 南小島遺跡(～平安)
 4. 野台跡遺跡(～古墳)
 5. 藤原野跡遺跡
- 古墳時代
6. 遠見塚古墳
 7. 法華塚古墳
 8. 藤原野跡
 9. 砂押1遺跡(～平安)
 10. 砂押2遺跡(～平安)
- 奈良・平安時代
11. 藤原野跡分祠跡
 12. 藤原野跡分祠跡
 13. 雲梯園遺跡
 14. 野山遺跡
 15. 中・近世
 16. 本宮城跡
 17. 沖野城跡

第11図 遺跡の位置と周辺の遺跡(国土地理院 1:25,000「仙台東南部」より)



撮影 断面実測



外面

内面

拓影図及び写真

4. 仙台市指定文化財候補物件調査報告Ⅱ

仙台市指定文化財の件数は、昭和58年度末現在有形文化財21件、史跡3件、天然記念物2件の計26件となっているが、指定の価値を有していると考えられながら未指定となっている物件は相当数残されている。仙台市教育委員会では、諮問機関である仙台市文化財保護委員会内に仙台市指定文化財候補物件調査小委員会を美術工芸・歴史文献・建造物・無形民俗・史跡考古名勝天然記念物の6部門に分けて設置し、候補物件の抽出・整理検討等に関する協議を行なっている。現在まで把握されている候補物件リストの中で、特に指定候補としての価値を詳細にわたって検討・評価する必要があるものについて、その基礎的資料を作成するため、昨年度から指定候補物件調査事業を開始した。初年度の昭和57年においては、建造物2件（大梅寺庫裡愛宕山虚空蔵堂）及び彫刻4件（聖観世音菩薩立像ほか）の調査を実施している。本年度においては、建造物2件を東北大学工学部・佐藤巧教授（市文化財保護委員会副委員長）に、有形民俗文化財3件を東北学院大学文学部・岩崎敏夫教授（同委員会委員）に、及び天然記念物1件を太白地域自然愛好会（代表 高橋雄一）にそれぞれ調査を委託した。

本報告書では、このうち建造物2件について紹介するものである。

I. 建造物部門

佐藤 巧

(1) 大年寺惣門

大年寺は元禄10年（1697）に鉄牛道機によって茂ヶ崎に開かれた禅寺で、山号を兩足山と称する。臨済派に属する黄檗宗の寺である。黄檗宗の寺は仙台では珍しく、他には小田原の万寿寺、また近隣には宮城町の臨済院などがあるが、ともに廃寺となり、現在はその遺構も皆無に近い。

大年寺は、盛時には仏殿を中心に禅堂、齊堂方丈、庫裡、鐘樓、鼓樓、経蔵、東司、寮などを具備した堂々たる伽藍であった。正面入口に山門、そして中門、さらに遠く惣門を置いた。明治維新に際して悉く取り壊され、一部に移築転用されているものがあるが、旧地において現存するのはこの門が唯一のものとなっている。他に転用遺構として多賀城市南宮の慈雲寺惣門がある。

大年寺の堂宇は元禄から享保にわたって整備されているが、その中であってこの惣門は比較的早い時期のものである。青山公治家記録によれば、元禄9年10月16日、伊達綱村が茂ヶ崎を訪ねて寺院造営の縄張、鍬初めを行っており、同10年1月24日には鉄牛和尚が仙台に下着するや、ともに茂ヶ崎川を見分している。そして元禄10年3月8日、早くも大年寺建立成就し、鉄

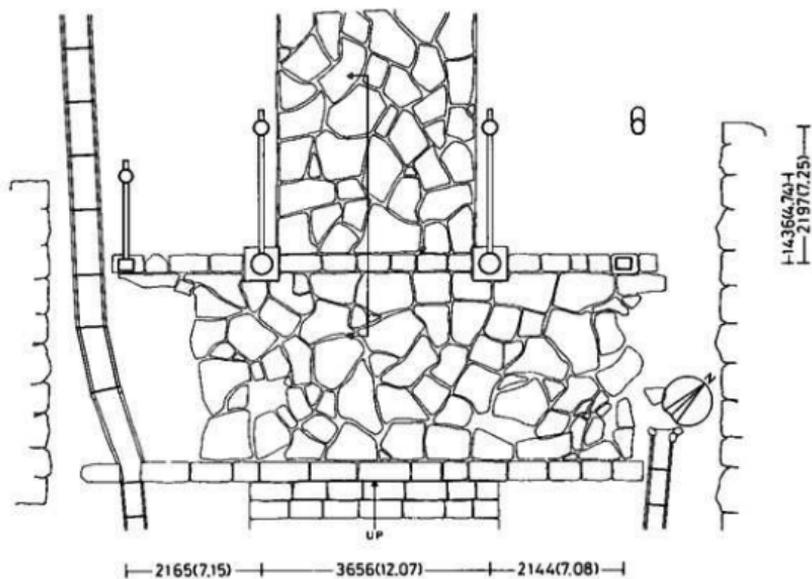
牛和尚入院し、開山の儀式を挙行している。治家記録のこの日の項に「鉄牛和尚今朝虚空藏別当大満寺へ來儀、彼寺ヨリ乘輿、辰刻大年寺へ入院、大満寺へ御迎、遠山友之助、惣門へ御使津田又次郎西大條主計、中門へ遠藤内匠、公山門マテ御出迎、萬壽寺月耕和尚井鳳山和尚始黄檗一派、僧各罷出、於諸堂開堂執行アリ、公仏殿伽藍祖師堂ニ於テ御焼香御拝……………」とあって、仏殿の他にこの日までにすでに山門、中門そして惣門の位置が決定されていることを知る。

現存の惣門は破損が甚だしいが、創建以後に焼失、再建ないし移建された事実もなく、またその細部装飾の点からみて元禄からそう遠くない時期の建築とみて大過ないものと思われる。

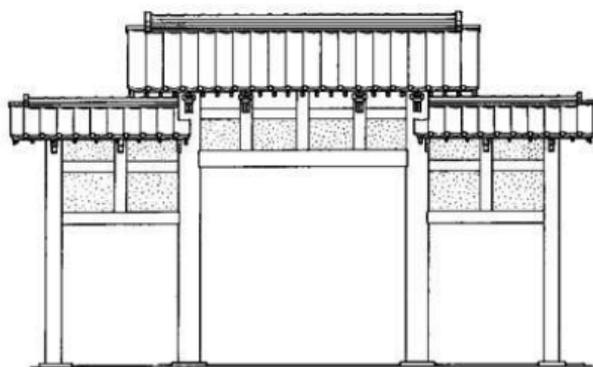
大年寺門前（現在、門前町は新道によって分断）を進むと、高い石段の裾にこの門が望まれる。枯淡な門で飄々とした趣がある。2本の円柱の本柱（扉は現在失われている）に肘木を挿して軒桁を支え、本柱の頂部に斗を載せて直ちに棟木を受け、切妻の檼瓦葺屋根を葺く。本柱の背後に控柱を建ててこの上にも切妻の檼瓦屋根をかけ、また本柱の左右両脇にも支柱を建てて同じく切妻の檼瓦屋根をかけ、都合5個の切妻屋根を持っている。外観は高麗門の形式にさらに左、右の袖をつけ、一段と複雑にした形である。

架構的には簡素な門であるが、挿肘木、頭貫木鼻、板肘木の絵様、また装飾懸魚や鱗の形状など細部装飾に元禄創建時の様式的特徴が認められる。

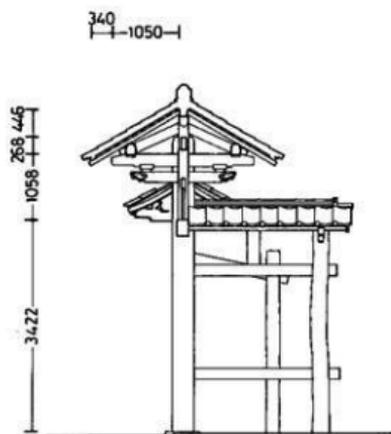
奇抜な門で、黄檗宗建築としても数少ない遺構である。



(平面图)



(立面图)



—B—

(断面图)



(正 面)



(背 面)



(背面右側)

(挿肘木)



(頭貫木鼻)



(妻飾懸魚)



(2) 孝勝寺釈迦堂（もと榎ヶ岡釈迦堂）

4代藩主伊達綱村が生母三沢初子（浄眼院夫人）の冥福を祈るため、生母が生前護持した釈迦尊像をおさめるための持仏堂を建てた。これが現在の釈迦堂である。この釈迦堂はもと榎ヶ岡に在ったが、榎ヶ岡公園整備と管理の上から、最近孝勝寺境内地に移建された。孝勝寺の裏手には孝勝寺殿廟と並んで浄眼院殿廟があり、元来浄眼院夫人にとって孝勝寺は縁の深い寺である。

青山公治家によれば、元禄7年10月20日に伊達綱村が釈迦堂建立の地を見分、同月25日新初、同年11月4日銀始めの儀があり、そして山家喜兵衛、氏家清五郎、細目助太郎が普請奉行を命ぜられた。同年12月24日に地鎮祭執行、元禄8年1月12日柱立、同年1月28日上棟、同年3月8日に釈迦堂に釈迦尊像入仏供養を執行、同年3月11日造営が完了している。大工棟梁は松原助兵衛重成、鋸工は早井弥兵衛定次である。

堂の規模は方三間、即ち桁行・梁間ともに3間、宝形造、銅板葺。桁行寸法は708.6センチメートル（23.38尺）、梁間寸法は708.9センチメートル（23.40尺）。前面に1間の向拝を付ける。現在は四周の基壇縁辺に高欄を巡らしている。

軸部は円柱に台輪、頭貫、内法長押、腰長押、板壁で土台を設ける。正面1間に棧唐戸、その両脇間に花灯窓を配する。また左右両側の前面1間にも花灯窓を開ける。花灯窓には縦、横に棧を吹き寄せに挿入。屋根の頂上には露盤、伏鉢、宝珠を載せる。

斗拱は出組で軒支輪を配し、軒は二軒繁垂木。中備に墓股を置く。正面内法長押と頭貫との間に宝相華唐草文の欄間を入れるが、この部は室内側が菱格子欄間となって意匠を異にする。側面においては前面1間分のみ同様の趣向になるが、他は内・外ともに菱格子欄間となっている。本棟柱と向拝柱との間には繋ぎの虹梁は無く、手挟がある。向拝の水引虹梁の中央に墓股を置き、虹梁木鼻は抽象化された象頭となる。外面に用いられた墓股は脚の内に彫刻類を一切挿入せず、素朴な形のもの。

室内は畳敷の内陣と畳敷の外陣とに別れ、両者の境には円柱2本が立ち、内陣部は一段高い。須弥壇は禅宗様の機型があり、高欄には禅宗様特有の裏手が付く。厨子は須弥壇上に立つ円柱によって支えられた唐破風屋根があって、中に宝塔状の厨子が安置され、そのうちに釈迦尊像を内蔵する。須弥壇は中央部に蓮華唐草文彫刻を挿入し、黒漆塗を基調に、アクセントに朱漆を配色している。厨子の柱、軒唐破風、虹梁、墓股などは黒漆、飾金具、金箔を以て装飾し、華麗な装飾効果を挙げている。なお内陣、外陣ともに格天井を張る。

内陣、外陣境に立つ柱の間には3本の虹梁を渡し、それぞれの中央に墓股を配する。中央の間の墓股内には牡丹を彫刻、またその下の欄間には雲間に飛翔する楽人を彫刻。これらの彫刻は金泥塗となる。

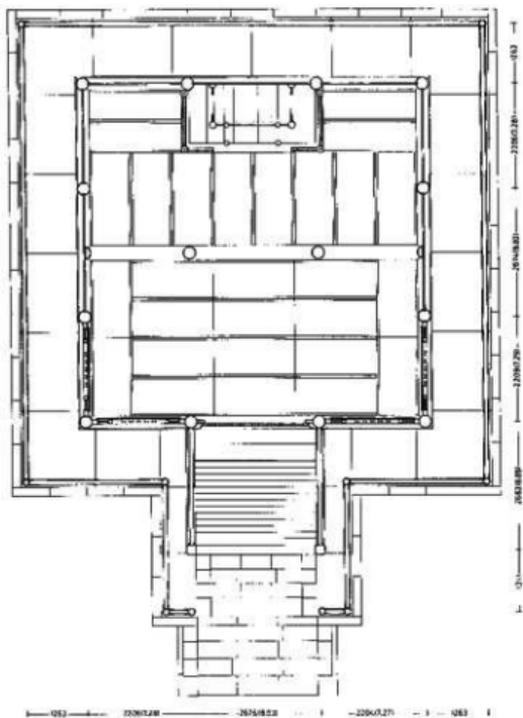
伊達家御修覆帳によれば「中之間八尺八寸脇之間七尺貳寸二分 屋根瀬戸瓦葺方形作」とある。従って屋根は当初は瀬戸瓦葺であったことがわかる。また宝珠の形も変っている。御修覆帳所載の堂平面図には四周に縁があり、「四方飛縁高欄」との記入がある。現在は板敷縁が失われ、基壇に替っていることが知られる。また花灯窓はもとは連子窓であったことが痕跡からも確かめられるが、同御修覆帳に「角連子」とあるので、後の改変になることが分る。

現在、外観の柱、台輪、頭貫、長押、欄間、臺股、蛇腹、斗拱などは黒色、琵琶板、裏甲などは朱色、壁は白色となっているが、もとは素木造りであったと考えられる。

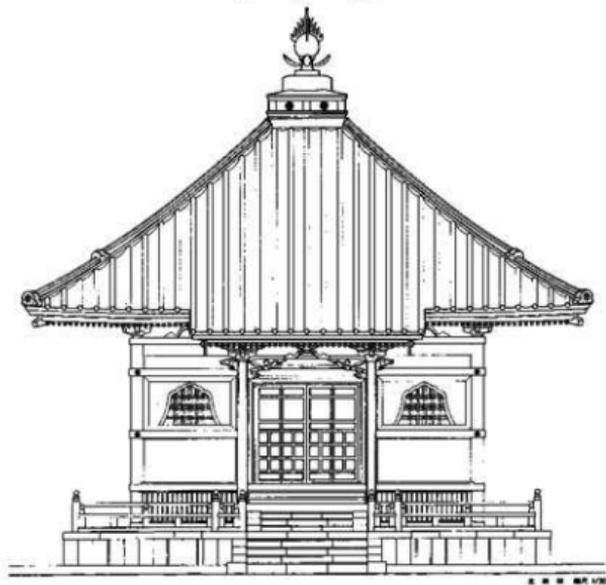
創建以来、色彩面において、また部分的な改変は認められるが、向拝虹梁、臺股、斗拱、また内部の厨子、須弥壇、柱間装飾など、元禄創建時代の様式的特徴を伝えている遺構である。



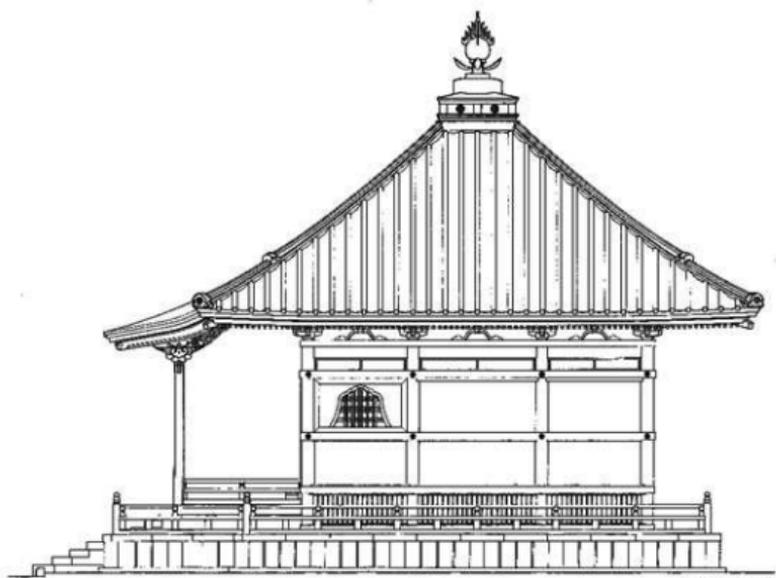
(正 面)



(平面图)

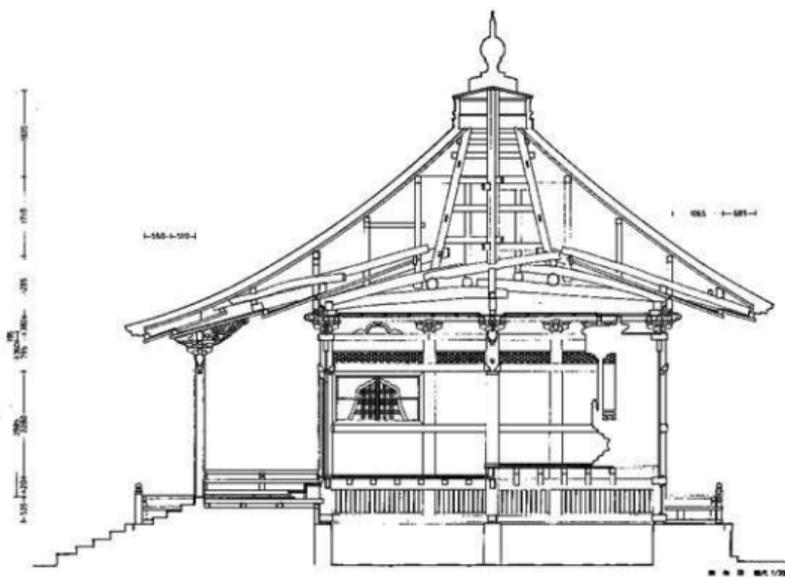


(立面图)



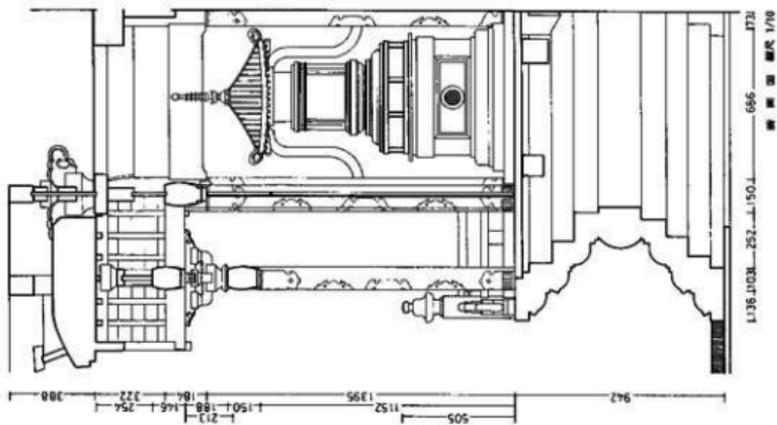
(側立面圖)

圖 5-1-100

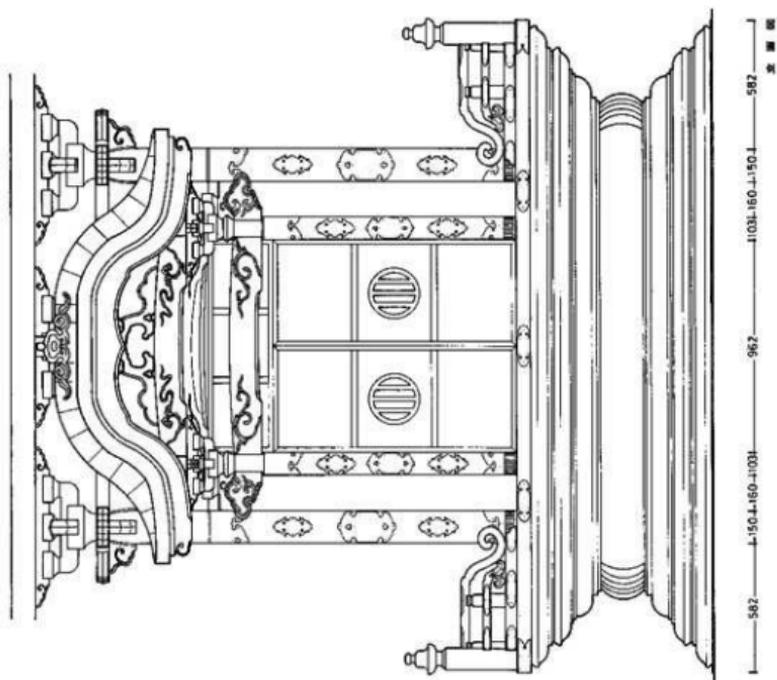


(斷面圖)

圖 5-1-101



(厨子侧面图)



(厨子立面图)



(側面)



(宝珠)



(向拝正面)



(向拝側面)



(正面左側軒回り)



(内 障)



(外 障)



(須弥壇・厨子)



(宝塔状の厨子)



(内陣外陣境中央の墓股
及び欄間彫刻)



(内陣外陣境の墓股
及び欄間彫刻)

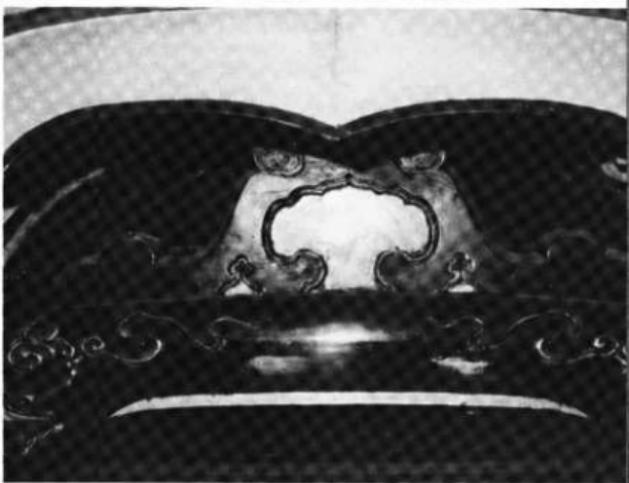


(内陣外陣境の墓股
及び欄間彫刻)

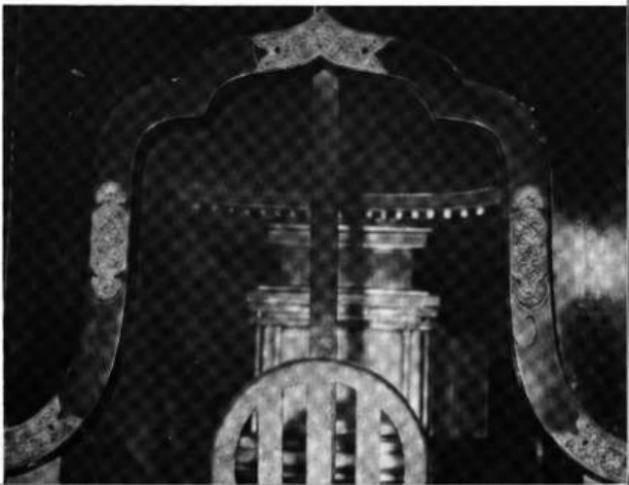
(厨子のディテール)



(厨子のディテール)



(厨子のディテール)



職 員 録

社会教育課		文化財調査係			
課 長	水野昌一	係 長	佐藤 隆	主 事	金森 安孝
主 幹	早坂春一	教 諭	渡辺 忠彦	〃	佐藤 甲二
		〃	佐藤 裕	〃	吉岡 恭平
		主 事	田中 則和	〃	工藤 哲司
		〃	結城 慎一	〃	渡部 弘美
文化財管理係		教 諭	成瀬 茂	教 諭	渡辺 誠
係 長	大沢隆夫	〃	菅原 和夫	主 事	主浜 光朗
主 事	岩沢克輔	〃	青沼 一民	〃	斎野 裕彦
〃	山口 宏	主 事	木村 浩二	〃	長島 栄一
		〃	鶴原 信彦	〃	荒井 悟
		〃	佐藤 洋	派遣職員	高橋 勝也

仙台市文化財調査報告書刊行目録

- 第1集 天然記念物霊屋下セコイヤ化石林調査報告書(昭和39年4月)
- 第2集 仙台城(昭和42年3月)
- 第3集 仙台市燕沢善応寺横穴古墳群調査報告書(昭和43年3月)
- 第4集 史跡陸奥国分尼寺跡環境整備並びに調査報告書(昭和44年3月)
- 第5集 仙台市南小泉法輪塚古墳調査報告書(昭和47年8月)
- 第6集 仙台市荒巻五木松宮跡発掘調査報告書(昭和48年10月)
- 第7集 仙台市富沢裏町古墳発掘調査報告書(昭和49年3月)
- 第8集 仙台市向山堂岩山横穴群発掘調査報告書(昭和49年5月)
- 第9集 仙台市根岸町宗禪寺横穴群発掘調査報告書(昭和51年3月)
- 第10集 仙台市中山町安久東遺跡発掘調査概報(昭和51年3月)
- 第11集 史跡遠見塚古墳環境整備予備調査概報(昭和51年3月)
- 第12集 史跡遠見塚古墳環境整備第二次予備調査概報(昭和52年3月)
- 第13集 南小泉遺跡一範圍地誌調査報告書(昭和53年3月)
- 第14集 栗遺跡発掘調査報告書(昭和54年3月)
- 第15集 史跡遠見塚古墳昭和53年度環境整備予備調査概報(昭和54年3月)
- 第16集 六反田遺跡発掘調査(第2・3次)のあらまし
- 第17集 北臣敷遺跡(昭和54年3月)
- 第18集 柳江遺跡発掘調査報告書(昭和55年3月)
- 第19集 仙台市地下鉄関係分布調査報告書(昭和55年3月)
- 第20集 史跡遠見塚古墳昭和54年度環境整備予備調査概報(昭和55年3月)
- 第21集 仙台市開発関係遺跡調査報告書1(昭和55年3月)
- 第22集 経ヶ峯(昭和55年3月)
- 第23集 年報1(昭和55年3月)
- 第24集 今泉城跡発掘調査報告書(昭和55年8月)
- 第25集 三神軍遺跡発掘調査報告書(昭和55年12月)
- 第26集 史跡遠見塚古墳昭和55年度環境整備予備調査概報(昭和56年3月)
- 第27集 史跡陸奥国分寺跡昭和55年度発掘調査概報(昭和56年3月)

- 第28集 年報 2 (昭和56年 3月)
- 第29集 郡山遺跡Ⅰ—昭和55年度発掘調査概報—(昭和56年 3月)
- 第30集 山田上ノ台遺跡発掘調査概報 (昭和56年 3月)
- 第31集 仙台市開発関係遺跡調査報告Ⅱ (昭和56年 3月)
- 第32集 涌ノ巣遺跡発掘調査報告書 (昭和56年 3月)
- 第33集 山口遺跡発掘調査報告書 (昭和56年 3月)
- 第34集 六反田遺跡発掘調査報告書 (昭和56年12月)
- 第35集 南小泉遺跡—都市計画街路建設工事関係第1次調査報告 (昭和57年 3月)
- 第36集 北前遺跡発掘調査報告書 (昭和57年 3月)
- 第37集 仙台平野の遺跡群Ⅰ—昭和56年度発掘調査報告書—(昭和57年 3月)
- 第38集 郡山遺跡Ⅱ—昭和56年度発掘調査概報—(昭和57年 3月)
- 第39集 燕沢遺跡発掘調査報告書 (昭和57年 3月)
- 第40集 仙台市高速鉄道関係遺跡調査概報Ⅰ (昭和57年 3月)
- 第41集 年報 3 (昭和57年 3月)
- 第42集 郡山遺跡—宅地造成に伴う緊急発掘調査—(昭和57年 3月)
- 第43集 栗遺跡 (昭和57年 8月)
- 第44集 涌ノ巣遺跡発掘調査報告書 (昭和57年12月)
- 第45集 茂庭—茂庭住宅団地造成工事地内遺跡発掘調査報告書—(昭和58年 3月)
- 第46集 郡山遺跡Ⅲ—昭和57年度発掘調査概報—(昭和58年 3月)
- 第47集 仙台平野の遺跡群Ⅱ—昭和57年度発掘調査報告書—(昭和58年 3月)
- 第48集 史跡速見塚古墳昭和57年度環境整備予備調査概報 (昭和58年 3月)
- 第49集 仙台市文化財分布調査報告Ⅰ (昭和58年 3月)
- 第50集 岩切畑中遺跡発掘調査報告書 (昭和58年 3月)
- 第51集 仙台市文化財分布地区 (昭和58年 3月)
- 第52集 南小泉遺跡—都市計画街路建設工事関係第2次調査報告 (昭和58年 3月)
- 第53集 中田畑中遺跡発掘調査報告書 (昭和58年 3月)
- 第54集 神明社裏跡発掘調査報告書 (昭和58年 3月)
- 第55集 南小泉遺跡—青葉女子学園移転新営工事地内調査報告 (昭和58年 3月)
- 第56集 仙台市高速鉄道関係遺跡調査概報Ⅱ (昭和58年 3月)
- 第57集 年報 4 (昭和58年 3月)
- 第58集 今泉城跡 (昭和58年 3月)
- 第59集 下ノ内浦遺跡 (昭和58年 3月)
- 第60集 南小泉遺跡—倉庫建築に伴う緊急発掘調査報告書—(昭和58年 3月)
- 第61集 山口遺跡Ⅱ—仙台市体育館建設予定地—(昭和59年 2月)
- 第62集 燕沢遺跡 (昭和59年 3月)
- 第63集 史跡陸奥国分寺跡昭和58年度発掘調査概報 (昭和59年 3月)
- 第64集 郡山遺跡Ⅳ—昭和58年度発掘調査概報—(昭和59年 3月)
- 第65集 仙台平野の遺跡群Ⅲ—昭和58年度発掘調査報告書—(昭和59年 3月)
- 第66集 年報 5 (昭和59年 3月)
- 第67集 高沢水田遺跡—第1地—泉崎前地区 (昭和59年 3月)
- 第68集 南小泉遺跡—都市計画街路建設工事関係第3次調査報告 (昭和59年 3月)
- 第69集 仙台市高速鉄道関係遺跡調査概報Ⅲ (昭和59年 3月)
- 第70集 戸ノ内遺跡発掘調査報告書 (昭和59年 3月)
- 第71集 後河原遺跡 (昭和59年 3月)
- 第72集 六反田遺跡Ⅱ (昭和59年 3月)
- 第73集 仙台市文化財分布調査報告書Ⅱ (昭和59年 3月)

仙台市文化財調査報告書第66集

昭和58年度

年 報 5

昭和59年3月

発行 仙台市教育委員会

仙台市国分町3-7-1

仙台市教育委員会社会教育課

印刷 針生印刷株式会社

仙台市伊在白山印刷町地3号 電話88-5011

